新京日日新聞
夕刊
十一月十二日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓五拾錢（郵稅一ヶ月五拾錢）
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（３）三二〇五　營業局專用（３）三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

閑院參謀總長宮殿下
南支派遣軍に御言葉を賜ふ

【廣東十二日發國通】閑院參謀總長宮殿下には南支派遣軍に對し左の如き優渥なる御言葉を賜り、十一日これを拜受した軍では直ちに前線に傳達した、全將士は光榮に感激、士氣いよいよ昂つてゐる

南支派遣諸部隊の軍紀概して嚴正に保持せられあるを聞くは本職の最も滿足するところなり、今後駐留久しきに及ぶに從ひますます士氣を作興し軍紀を振作し、もつて皇軍の威容をしてますます光輝あらしめむことを望む、なほ瘴癘の地、宜しく衛生に留意し防疫に努めもつて戰力を保持し遺憾なからしめむことを

洞庭湖畔感激の萬歳
岳州を完全占領
我が追擊作戰著しく有利に

【岳州十二日發國通】藤岡部隊は十二日午前七時岳州を完全に占領した

【岳州十二日發國通】雲開渺れる月光に照されつゝ夜を徹して城内の殘敵掃蕩を行つた藤岡部隊は、十二日午前七時掃蕩を終り岳州を完全に占領各樓上に日章旗を翩翻として靡へり、感激に滿ちた萬歳の聲は曉の洞庭湖畔に響きわたつた

【岳州郊外十二日發國通】夜が更けるにつれて月光は次第にその光を增し殘敵掃蕩を開始する將兵の頭上を照しつける、市街のこの一角あの一角にけたゝましい銃聲と軍歌の音は岳州城内に擴がつて行く「洞庭湖はもうすこしで見えるぞ」と勵ましあひつゝ銃劍をしつかり握る將兵の眉宇にみなぎる感激の色は岳州攻略の榮譽にもゆる感激である、岳州完全占領後やがて長江の最上流にたゝんとする喜びである、續々殺到する將兵の士氣はいよいよ旺盛、淡い月光に照されつゝ夜を徹して殘敵掃蕩は續けられて行く

【上海十二日發國通】皇軍の岳州攻略は敵の湖南省首都長沙防衛最重要據點の崩壞を意味すると同時に、湖南省北部一帶に展がる洞庭湖を扼する事により湖南省北部と外部の交通を一切斷ち切ることゝなり、且つ同湖内に[illegible]てゐた國府海軍の一[illegible]江から完全に切離し[illegible]今後のわが追擊作戰[illegible]陸軍、海軍ともに著しく有利となつたわけである

正義皇軍に感謝の現れ
饒州全町民が遡江部隊を歡迎
支那軍の暴虐振りを訴ふ

【軍艦〇〇十一日發國通】去る六日〇〇附近に碇泊中の海軍遡江艦〇〇を訪問して來た二名の支那人があつた、饒州の長老陳審眞と石世元といふ村民の代表で白濱參謀と會見し「日本軍のお力で暴虐な支那軍がこの地方一帶から逃去つた」と感謝して町民三千を代表して歡迎の辭を述べた、見れば饒州の江岸に多數の町民が集り爆竹を鳴らし急拵への日の丸の旗を風になびかせてゐる、彼等の話によると支那軍は一週間前ほど前に雪崩を打つて此處を通過した時あらゆる亂暴を働き町民を苦しめその上に夜間民船を徵發して附近の河中に機雷を敷設して行つたゝめ何も知らぬこの附近の民船十數隻は機雷にかゝつて爆發し百人以上の死傷者を出したこともあつたと支那軍の暴虐振りを訴へて間もなく仔牛、豚を各一頭、鷄二百羽、煙草廿八箱を持參してわが遡江部隊を迎へるなど並ならぬ和かな歡迎風景を現出した

捕虜將校飜然自省

【漢口十二日發國通】京漢線花園驛においてわが警備隊の急襲を受け捕虜となつた敵の二將校が口を揃へて皇軍の優遇に感激し「蔣介石なんかつまらぬ」と飜然自省、支那人に皇軍出師の目的を話したいと十一日切なる願ひをわが一將校に申出でた、これは第二十二師政治部の步兵中佐劉培風（四二）同步兵大尉張又錚（四五）の兩人で劉は蔣介石と同じ浙江省衢縣の出身、杭州師範を卒業し上海の商務印書館の編輯人となつたが、同鄕の先輩蔣介石を崇拜し南京中央軍官學校政治科に學んだもので、取調べにあたつた伊上中尉に對し

「捕虜となつて感あり」と題し深く皇軍の優待を蒙り實に感激に堪へぬ、もう抗戰はこりごりだ、今後は皇軍のため大いに働かして貰ひたい

といふ意味の一文を示した、張は湖南省長沙の生れで蔣の演說に共鳴、軍籍に身を投じたものである、同人は伊上中尉から貰つた紙片に

私は皇軍の威德を敬し皇軍出師の眞意を支那人に知らせたい、皇軍が捕虜を殺さぬ有難さは一生忘れぬ

としたゝめ何れも皇軍の溫情に感謝の言葉を述べてゐた

新塘附近で敵七百を潰滅
南支作戰着々進捗

【廣東十二日發國通】南支方面の占領地區はわが軍不斷の肅淸工作によつて着々治安の回復を見つゝあるが、廣九鐵道沿線地帶の殘敵掃蕩に當つてゐる小川部隊は八日は新塘附近東江南岸地區にあつて蠢動を續けてゐた迫擊砲及び自動火機を有する廣東軍百五十八師の一部及び莞增特務大隊廣東省民抗日自衛團、東莞縣第三十五團に屬する正規兵並に土民軍の混合せる約七百の敵の掃蕩を開始し、これに潰滅的打擊を與へて四散せしめた、敵の損害は遺棄死體のみで約二百、鹵獲兵器、彈藥等多數

蔣政權進出に
四川將領極力反對

【香港十二日發國通】廣東、漢口陷落以來四川省はいよいよ蔣政權勢力逼入に直面し、四川對蔣介石の關係はますます微妙なものがあるが、最近重慶より昆明、河内經由香港に來た國府某要人は四川の狀況に關しつぎの如く語つた

四川の將領連は表面的には蔣の抗戰方針を支持するが如く裝つてゐるが、戰爭の繼續を希望してゐる者は一人もゐない、殊に漢口陷落後重慶政府が增强されたことは四川に對する日本空軍の爆擊が一層頻繁となるものとして蔣政權四川進出には極力反對で内面的にいろいろ反對工作を續けてゐる事實があり、この點から見ても蔣勢力が完全に重慶まで及び得るとは考へられない、既に四川將領は蔣の黨政に服せず、また一般民衆も蔣のいふ最後の勝利とは逆に日に日に生活が逼迫してゐるので抗戰の前途に非常な疑惑を抱いてゐる、この民衆の懷疑感は昆明でも同樣である

ワ新任獨公使
國書捧呈を終る
ステートメント發表

新任獨逸特命全權公使ワグネル氏の國書捧呈式は十二日午前十一時勤民樓東便殿において嚴かに行はれた、午前十時三十分宮内府差し廻しの禮車によつて宮内府着、張總理、張侍從武官長、工藤侍衞處長星野長官、蔡外務局長官侍立のもとに東便殿において嚴かに信任狀の捧呈が行はれ、皇帝陛下におかせられてはワグネル公使に御握手を賜はり、同十一時三十分退下した

□

ワグネル新任獨逸公使は信任狀捧呈後ゲー・キュールボルン參事官等列席のもとにヤマトホテルにおいて在京記者團と會見左の如きステートメントを發表した

ステートメント

本日皇帝陛下に捧呈するの光榮を有せる信任狀の中でアドルフ・ヒツトラー總統は新京に獨逸國公使館を開設するのが獨滿兩國間に存する親善關係を適當に表現せんがためであることを高調してゐます、駐滿初代獨逸國公使として私は兩國政府が本年五月十二日に修好條約を締結して相互に公使を任命せんとした決心が兩國家と兩國民によつて永久に幸福な結果を齎らすことを願望します、私が獨滿親善に對する總統の願望と意思を全力を盡して遂行して行くことは私の光榮な任務であります、兩國民の親善關係は曩に多くの將來性に富める通商關係を樹立するに當つても充分實證されてゐるまして私は獨逸國民が滿洲國の經濟的建設を大なる而も益々增大する關心を以て見てゐることも明言したいと思ひます、獨滿間の經濟的關係は本年九月十四日附新貿易協定によつて既に大いに擴大されてゐますが、私は將來力を盡して之に貢獻致し、又同時に國民生活の凡ゆる分野に於いて相互的理解を增進すべき凡ゆる文化的科學的努力を實現せんがために特に力を盡さんと思ひます、獨滿兩國間に存する親善關係が獨日兩國間に最も理想的に順應することは私は三國民の幸福と世界平和の維持とに對する効果的協調への特殊的保證に外ならないと存じます、アドルフ・ヒツトラー總統の活動力に富める滿進的な政治によつて强力なる新らしき國家體に完成されたる吾獨逸國は滿洲國の大なる成功を祈ります、大發展を見つゝある首都新京に於いて私の公務を開始することが出來るのは私の大なる喜びであり、言論機關に居られる皆樣に向つて私は獨滿親善を增進すべき大なる任務の遂行に際し常に理解ある協力と援助をお願ひします

新京に於て　一九三八年十一月十二日　ワグネル博士

第二回收穫豫想

【東京國通】十一日農林省第一次發表　十月末日現在に於ける第二回米穀收穫豫想收穫高、北海道ほか十一府縣分の合計は千六百八十四萬九百卅石で第一回豫想收穫高に比し七厘前年度實收高に比し三分三厘のそれぞれ減少を示した

人事往來

着京

▲宅間道夫氏（銀行員）十一日來京ヤマトホテル
▲島居庄藏氏（日本銀行理事）同
▲山地世夫氏（會社員）同
▲星野龍男氏（滿鐵社員）同
▲福度一雄氏（滿洲鑄鋼所）國都ホテル
▲有井勇氏（會社員）同
▲小鍛冶福秀氏（同）同
▲松浦恒二郎氏（同）同
▲岡本健一氏（商業）同
▲山本酒造三郎氏（同）大都ホテル
▲佐々木信一氏（木材商）同
▲島津保次郎氏（會社員）同
▲樋口次郎氏（日本電氣）同
▲杉田幹氏（會社員）同
▲高安清見氏（同）同
▲富中大輔氏（官吏）同
▲平井富三郎氏（同）同
▲中村辰五郎氏（同）同
▲田中健次氏（鋼鐵商）同
▲高口清氏（同）同
▲小西英雄氏（請負業）同
▲宮城文雄氏（技師）ニューアジアホテル
▲今野嘉平氏（商業）同
▲山本富藏氏（會社員）同
▲梶原英三氏（同）同
▲野見諒一郎氏（同）同
▲松田清氏（同）三國ホテル
▲杉浦信一氏（大信洋行）同
▲宮坂正見氏（工業）同
▲中村三郎氏（商業）同
▲關田興助氏（會社員）同
▲渡邊說全氏（同）同
▲上野光一氏（滿鐵參事）蓬萊ホテル
▲角田毅氏（商業）同
▲佐々木心策氏（官吏）同
▲味村悟郎氏（滿鐵社員）同
▲友末順三氏（滿洲拓殖）同
▲肦山太一氏（官吏）同
▲廣瀨賴司氏（會社員）帝都ホテル
▲四本鈴三氏（同）同
▲志方克己氏（無職）同
▲大望圭吉氏（橫田組）同
▲草望正榮氏（官吏）同

出發

▲伊東秀氏　十一日奉天へ
▲長井亞歷山氏　吉林へ
▲澤田茂氏　哈市へ
▲高瀨一雄氏　同
▲渡久雄氏　大連へ
▲森田春次氏　同
▲山下泰藏氏　奉天へ
▲米村義三氏　同
▲熊谷榮次郎氏　哈市へ
▲鈴木卓雄氏　同
▲武石雄友氏　奉天へ
▲後藤秋太郎氏　同
▲三島光三郎氏　大阪へ
▲岡崎潔丸氏　奉天へ
▲鎌倉巖氏　同
▲齋藤繁雄氏　大連へ
▲橋詰淸志氏　同
▲永野萬吉氏　內地へ
▲加藤儀三郎氏　同
▲島田正義氏　哈市へ
▲谷口宏氏　同
▲高津久次氏　同
▲草間茂登氏　大連へ
▲市川灑氏　佳木斯へ
▲樋口健太郎氏　哈市へ
▲長峰大吉氏　大連へ
▲瀨戸勝治氏　奉天へ
▲石井鐵三氏　同
▲山本邦太郎氏　東京へ
▲竹田四郎氏　奉天へ
▲伊藤毅氏　大連へ
▲上田滿松氏　同
▲橫山臣市氏　琿春へ
▲河邊定男氏　哈市へ
▲本川靜夫氏　奉天へ
▲溝淵義雄氏　哈市へ
▲宮下靜一郎氏　同
▲古田純三氏　奉天へ
▲佐藤健三氏　大連へ

その日〳〵

□岳州早くも陷つ、戰へば勝ち攻むればとるのが當然と考へられる皇軍

□自國兵の暴虐を訴へ皇軍を歡迎する支那民衆、蔣を除けば皆握手を望んでゐる

□蔣政權の逼入に四川將領絕對反對、兇鷲の恐怖と共に四百餘州安住の地なき蔣

□重慶市民に避難命令、皇軍の快進擊に恐れをなしたのでもないらしいが……

□あすお遺骨到着、月に一度でよい驛に迎へ、お通夜に列席、驛に送れ

降るには降つたがスキーには不適
次の雪を待つ市公署體育股
今朝の積雪一ミリ三

十一日午後十一時二十五分より降り出した三回目の雪は晴れたり降つたり十二日午前三時五十分迄に一ミリ三の積雪を見、市公署衛生隊は直ちに道路の除雪を開始した、午前七時最低氣溫はマイナス七度七分を示し次第に晴れ上り十二日はすつかり良い天氣となつた、降雪地域は大連より哈爾濱迄の滿鐵線以東である、ウインタースポーツの準備を進めてゐる體育股では早速雪の質を調査してみたがスキーにはあまり適してゐないので次の降雪から衛生隊の市中除雪を白山公園に運搬して子供用スキー場を設けることゝなつてゐる、中央觀象台では本年度の降雪は昨年より多くあるみ込みだとスキーヤーにうれしい豫報をしてゐる

國防會館落成式

新京兒玉公園の一角に起工中であつた國防會館はこの程工事竣功し十二日午前十一時より新築落成式を擧行した、來賓關東軍、在京各部隊長、駐滿海軍部代表、滿洲國各部代表、在郷軍人聯合會、國防婦人會、防空協會、飛行協會、在京各特殊會社、各學校代表者、その他日滿各機關代表等約五百名列席、三階大會議室に於て新京神社植村神職の司祭にて修祓獻饌、降神、祝詞奏上と型の如く神事は進められ越生建設委員長、重藤鄉軍聯合會長、張國防婦人會長、呂防空協會長、大橋飛行協會長ら順次玉串を奉奠して滯りなく終了、それより一階兵士ホームにて祝宴開始一同日滿國旗に敬禮一分間默禱、越生建設委員長の挨拶、工事經過報告、工事請負者松浦組に感謝狀贈呈、來賓于特別市長、臧滿洲赤十字社總裁、軍事後援會長の祝辭、祝電披露があつて開宴國防會員の手踊の餘興數番あり最後に萬歲を三唱して盛況裡に閉會した、同會館は昭和十二年十月十三日起工、十三年十月十五日竣功した近代式三階建築で工費二十三萬圓、地階は最新式防空避難施設、兵器庫、陳列室、食堂、炊事室、ボイラー室、一階は在郷軍人會、國防婦人會兵士ホーム、二階は國防婦人會、防空協會、三階は大會議室、飛行協會等に分れてゐる【寫眞は國防會館の全景と落成式】

奉天近くに四スキー場開拓

從來奉鐵局管内には適當なスキー場なくわざわざ吉林方面まで出向かねばならなかつたので、奉鐵局旅客係ならびに福祉係では鋭意實地調査中であつたが今回安奉線歪頭山麓（奉天より約一時間）橋頭（奉天より約三時間）五龍背（奉天より七時間半）の三ヶ所に好適なスロープを發見したのでこれをスキー場として廣く紹介する事となつた、右三ヶ所には休憩小屋及び移動式の臺古包を設け數十臺のスキーを無料で貸與するなど萬般の設備を設ける筈で同地からの降雪報告を手具脛ひいて待つてゐる、なほ同局では奉天以北の本線沿線へも目下調査員を派して實地調査を行はせてゐるが、亂石山附近でも好スロープを發見積雪狀況を見た上で同樣積極的紹介に乘出す計畫である

惡戲の火災報知

十一日午後十時頃火災非常用電話で火災の急報があつたが不審な點があり祝町消防署で直ちに電話局へ問合せ取調べた結果通報先は三―三二〇一入船町二丁目一五共信公司なること判明、發火の事實を確かめたが全然その模樣が無いので署員が共信公司に急行調査の結果右は折柄遊びに來てゐた市内軍用路白木沙布所店員南山三郎（一五）＝假名＝が電話をかけたものと判り中央通署に連行した、同人は靑年學校通學中で歸校の途の行動でかくの如き非常識な行爲をとつたことを嚴重訓戒すると共に動機を調べてゐるが單なる惡戲心かららしい

濱綏線貨車脫線

濱綏線亞布洛尼驛構内において十二日午前一時頃九六六貨物列車脫線し不通となつたが驅命の復舊工事により九〇二列車は五時間餘遲れて發車し午前十一時半頃哈爾濱驛に到着した

寶山で萬引

吉林省九臺縣双廟子西頭生れ住所不定鄭清（一八）は十一日午後六時すぎ寶山百貨店の二階及び五階特賣場で閉店際の手不足を狙つてシャツ、革手袋、ズロース、毛糸等價格約十五圓を萬引した現行を店員の小森君に捕へられ中央通署へ突出された

松花江中洲で匪二十を潰滅

中村討伐隊は九日午前一時廿八分松花江中洲に碇泊中の匪二十を發見これを急襲、匪は死體十二を遺棄して潰走したこの戰闘に竹田善三郎上等兵田間光雄一等兵（各和歌山縣出身）は戰死、兵一負傷した

維新政府答禮使
龍參事官十一日新京へ

【南京十一日發國通】維新政府外交部では先般滿洲國より特使を派遣されたに對し答禮のため外交部龍參事官を答禮使として派遣することになり、龍參事官は十一日南京を出發上海經由新京に向つた、なほ維新政府は近く滿洲國との間に通商代表を交換し新京並に南京に常駐機關を設置して兩國間の通商協定貿易促進發展に資することになつた

バス停留所新設

交通會社では左記箇所に附近住民の利便を圖るため停留所を新設することゝなり、目下首都警察廳へ認可申請中であるが近く認可の筈である

一、熙光路（大同大街四十號地、利用系統一、二、四、六、七號線）
一、至聖大路（四一號地、利用系統二、七、二二、二三號線）
一、德惠路（昌平街三〇一號地、利用系統、三、七、二二號線）

滿洲生保標語發表は十二月一日

郵政總局で募集中の郵政生命保險標語は十日末日で締切つたところ應募總數八、六一七篇に達し目下總局の下で嚴選中であるが、內譯は滿文五、〇六一篇、日文三、五五六篇で入選發表は十二月一日である

特殊營業者も商工公會に加入
兩者歩み寄り近く圓滿解決

新京商工公會とカフェー、料理店、飲食店、藝妓置屋等國都特殊營業者との間にはこれが加入問題に關してかねて兩者意見對立紛爭中であつたが最近圓滿解決の曙光がほの見えるに至つた、即ちこれ等特殊營業者は商工會議所時代に於て特殊營業の

理由

により會員として認められず除外されて居た、然るに商工公會法公布と共に營業稅二十圓以上を納める商工業者は會員とする同法の規則によつて必然特殊營業者も商工公會に加入の義務が生じ同會は直ちに業者に對し會費を賦課した、これに對し特殊營業者側では從來除外されて來たのみならず商工公會に加入して得る何ものもなく徒らに會費を納める過ぎないものである、例へばカフェー等にして女給募集の場合商工公會が果して斡旋の勞をとるものであらうか、かうした理由によつて會費を納めず加入反對を表明した業者は代表を送り商工公會と交涉を開始すると共に更に全滿主要都市同業者に對して檄を飛ばし意見を求めたが、各主要都市にあつても加入反對を明らかにし激勵して來る情況に特殊營業者側は益す强硬な態度を以て臨んで來た、而して前後數回に亘る兩者の會見も議纏らず今日に至つたが、商工公會では法規により斷じて除外に出來ない

法に

從つて一度加入の上然る後萬一不利益であると言ふならそこに亦別途の方法も生み出されるであらうと極力加入をすゝめつゝあるもので最近組合側の態度もやゝ緩和され近く圓滿解決されるものと見られるに至つた

光明の世界へ 二人は還れる
永山博士開眼手術の結果

暗黑の失明者を光明の世界に救ふべく十月十六日大經路小學校で永山市立醫院眼科々長が全市九十六名の失明者を診察の結果、救ひ得る可能性あるものだけ引續き市立醫院で開眼手術治療中であつたが、其內完全に近き視力を得るもの二人、兩眼盲の苦を脫し得るもの十八名、現在の視力より少し良好となるもの廿一名の見込を得たので引續き治療を加へてゐるが、全市百七十名の失明者の原因はトラコーマ三十六・七四％、綠內障十一・四十四％、痲疹八・四十三％、黴毒六・〇二％、天然痘三・六十一％となつてゐる

あす午後お遺骨到着
各戸國旗を掲げ默禱を捧げよ

十三日午後三時十分哈爾濱より六十七柱、七時三十分吉林より十四柱の御遺骨が新京驛に到着、記念公會堂に安置され、お通夜の後十四日午前十時の列車で故國に凱旋することとなつてゐる、一般市民は各戸に弔旗を掲揚せられ、送迎御通夜に成るべく多數出席し遺骨の通行中行人は成るべく靜肅を保ち、尙御通夜の模樣はラヂオに依り全滿に放送することゝなつてゐるが、市代表燒香の際一般市民は家庭に於て默禱を捧げられ度しと

日滿經濟會議に豫想以上の收穫
……西村經濟部次長歸任談

過般大阪で開催された日滿經濟懇談會に出席した西村經濟部次長は會議終了後呂產業部大臣に隨行東京に赴き、日本政府要路を歷訪したのち呂大臣より一足先きに十一日午後五時七分新京着日滿連絡機で歸京したが、左の如く語つた

日滿經濟懇談會がこれ程の收穫を收めやうとは當初主催者側は勿論滿洲國側でも全く豫想してゐなかつたことだ、出席者は關西財界の巨頭を網羅したものだつたが、相手がざつくばらんに出て眞面目で率直な質問が續出するので、こちらで腹を割つて詳細な說明をしたわけだ、其結果滿洲國の小麥粉輸入問題、綿糸布需給對策其他海運政策や移民方策に至る迄こちらの經濟政策の全般に亘り完全なる諒解が成立し、今後五ヶ年計畫遂行に當つて資材の方面からも資金の方面からも全幅的支持を與へ樣との約束が出來た事は何よりの喜びである、今月廿二日東京を皮切りに大阪、福岡、京城、新京の順に日滿支三國の經濟懇談會がそれぞれ開催されることになつてゐるが、今回の會議の結果大阪財界の動きも大體支那よりも先づ滿洲へと云ふ氣運がより一層はつきりして來たやうだ、支那における戰後の復舊建設工作も無論必要には相違ないが生產力の速急的擴充といふ當面の課題より見れば既に基礎設備の完成してゐる滿洲を優先的に活用して行く意外に途はない

尙池田藏相とは昨日會つたが藏相を辭めるやうなことは勿論なからうと思はれる、しまた例の總動員法第十一條の發動についても假りに全面的發動があつても發動の具體的方式とその運用方法については產業界や金融界に急激な打擊を與へないやうな調整策が講じられる模樣であるから一時的な株價の變動や反動が起つても別に懸念するには當るまい

なほ呂產業部大臣は東京訪問後東北、北海道方面を視察の上來月十日前後歸任の豫定である

出征軍人の獻詠選歌決定

【東京國通】物言はぬ戰士たる軍馬の健氣な奮闘は前線將兵の限りなき感激と感謝の焦點となつてゐるが、今年の明治神宮の獻詠の御題「軍馬」は圖らずも聖戰下の勇士の心を痛く打つて全國よりの詠進歌八千六百餘首に混つて軍事郵便の葉書で北滿邊陬の國境警備部隊、中北支戰雲漠々たる第一線から精神こめての詠進も數十種に達し特に「出征軍人の部」として選に預り、十一日午後社殿において題者、點者、御歌所寄人千葉胤秋外諸役參列して嚴かに披講式が執り行はれたが秩父宮妃殿下をはじめ各宮樣方にも御歌を御獻詠あらせられた

△出征軍人獻詠選歌

熱河省古北口染谷部隊 清水政司
外套を馬の背にかけおのが身は時雨に濡るゝ長城の秋

中支派遣寺本部隊 木村新五郎
人ならば君萬歲もいふべきに軍馬悲しや今死なんとす

上海派遣三田村部隊 高木藏善
敵彈に倒れし馬に一輪の路傍の野菊われ手向けゝる

傷病兵着京

北滿討匪行の聖戰に不幸傷いた皇軍白衣の勇士四十二名は十二日午後三時十分新京驛着列車で哈爾濱より來京、鄉軍協和會、國婦會員等多數市民の出迎へを受けて直ちに新京陸軍病院へ入つた

ノーベル物理賞

【ストックホルム十日發國通】一九三八年度ノーベル物理賞は十日イタリー物理學者エンリコ・フエルミ博士に授與されるに決定した、フエルミ博士はローマ大學教授で放射能の研究の泰斗、殊に放射能による原素九十三號の發見者として知られてゐる

列車區員募集

新京列車區では內地人從業員を若干名募集してゐる、十六歲より二十三歲までの高等小學卒業程度、十二月五日列車區で國語、作文、算術、口頭試問の課目で試驗を行ふから希望者は十一月末まで願書を出されたしと

李前日滿實業協會副會長へ銀楯

日滿實業協會前副會長李明遠氏は本年五月任期滿了と共に副會長の職を退き後任副會長に新京商工公會々長丁鑑修氏が就任したが、同協會滿洲支部では同氏在任中の功に報ひるため去る十月十三日の理事會において記念品として大型銀楯を贈呈することに決定、その製作方を世興金店に依賴中のところ十一日出來上つたので同協會石崎理事は右銀楯を携へ午後三時半發列車で哈爾濱に向ひ李明遠氏を訪問贈呈することゝなつたが、右銀楯には

實業報國、經緯萬端、雅志高踏、榮譽昭宣、

の文字が刻み込まれ氏の功績を稱へてゐる

女子水上百五十碼に新記錄

【アムステルダム十一日發國通】十日夜當地で行はれた水上競技會の女子百五十ヤード背泳でオランダのJ・A・V・フエゲレン孃は一分四十八秒三の世界新記錄を作つた

廣東新報發刊

【廣東十二日發國通】支那軍の廣東敗退とゝもに抗日諸新聞も悉く姿を沒し復歸住民も漸く多く秩序も漸次回復して來たので軍報道班では廣東における新聞の發刊必要を痛感し、かねてその準備を急いでゐたが、いよいよ十一日淨字新聞廣東新報創刊號を發行した

木島少將逝去

【東京國通】退役陸軍少將水島正道氏はかねて病氣療養中のところ十日午後八時東京杉並區阿佐ケ谷の自宅で逝去した、享年七十四

組合教會集會

十一月十三日（日）午前九時 日曜學校
同十時半 禮拜 說教『人生鳥瞰』 高橋牧師
會場老松町普通學校正門前

日の出を拜する集ひ

十三日日曜日新京の日の出時刻午前七時三十分、西公園誠忠碑前で市民早起會、右終つて忠靈塔參拜

日本基督教會

一、日曜學校 午前九時
一、聖書學校 午前九時
一、朝の禮拜 午前十時半 說教「キリストにある新人」 石川牧師
一、夕拜 午後七時半 說教「キリストの福音」 石川牧師

メソヂスト教會

一、日曜學校 午前九時
一、日曜禮拜 午前十時半 說教「神國の福音」 山口牧師
一、志導者會 午後七時半

あす（十三日）

▲青年學校野外演習 午前八時新京商業に集合
▲京商第三回音樂發表會 午後七時於西廣場俱樂部
▲遺骨着京 午後三時十分哈爾濱方面より、午後七時三十分吉林方面より
▲日滿華兒童親善放送 午後六時
▲福田惠一畫伯個人展 公會堂
▲吉林縣賞寫眞展 乾寫眞館

今晚の主なる放送

▲七・三〇特別講演（東京）關屋悌藏 ▲七・四〇講演（東京）森廣藏 ▲八・〇〇吹奏樂と木琴獨奏（大連） ▲八・三〇常磐津（東京）倉田春平尾太夫外 ▲九・〇〇ラヂオ小說（東京）江川宇禮雄

三男義雄儀豫而病氣加療中の處養生不相叶十一月十二日午前四時三十分死去致候に付此段謹告仕候
追而葬儀は十三日午後三時祝町太子堂に於て可相營候
昭和拾參年十一月十二日
父 星子進
兄 星子敏雄
兄 星子毅
親族總代 星子秀男
親族總代 甘粕正彥

（第三種郵便物認可）

“ジエニイの家”
……新鮮な味はへる作品……

佛FFGA映畫

ルネ・グレール、ジャック・フェデエの許で助手として働いてゐたマルセル・カルネルの第一回監督作品として、一九三六年度のルイ・デリュック賞の候補となつてルノワールの「どん底」と最後まで爭つたと言はれる話題のもの、ピエール・ロシエの書卸しものによりジャック・プレヴエールとジャック・コンスタンの二人の著名なシナリオライターが脚色を擔當してゐる。

□　□　□

劇筋は一人の青年に對する母娘の戀を扱ひ、どちらかと言へば健康なものではないが通俗味多いストオリイでありながら、この組立ての細部に點綴した登場人物の內面追及のあるために著しい『質』の高さのある事が認められる之は前記脚色家の功績によるところ多しとするものであらう

□　□　□

勿論、マルセル・カルネルの非凡さも見逃すことは出來ない、新人とは言へ映畫生活には十年の經驗を有してゐると言はれるだけに、道が普通新人の見せる器用さ以上に身についたものを見せ、情緒ある新鮮な感觸に終始してゐるのは味ひのあるところである、また明らかにクレール、フエエデの影響をうけてゐると見られる部分のあること（例へば開卷ロンドンからパリへの音樂を使用した展開など）に前者、これに次ぐ描寫に程度の冷靜さのある事などに後者）を認め得て興味を添へる

□　□　□

主演者はフランソワーズ・ロゼエ（母）リゼット・ランヴアン（娘）アルベル・プレヂャン（青年）をはじめシャルル・ヴアネル、ジャン・ルイ・バロオ、ローランド・トータン、シルヴイア・バタイユ、マルゴ・リオン等豪華な顔ぶれである、フランソワーズ・ロゼエの母親は嵌り役であり完璧な演技であるが、それだけにこの中年女の痴情はいやらしいものゝ感を深くしないでもない、リゼット・ランヴアンは精彩なく、アルベル・プレヂャンの若い燕は出演者中の白眉であらう、シャルル・ヴアネル、ジャン・ルイ・バロオ等相變らず達者な脇役ぶり、その他の人達は役割としては脚本の曖昧さに災ひされてゐるが何れも印象に殘る顔ぶれであつた。帝都キネマ上映中、寫眞はその一場面【和】

防共親善映畫の夕
明晚西廣場俱樂部で

既報、イタリー・ルーチエ映畫會社に滿伊映畫交換取決めによる第一回の送荷として「滿洲國訪歐使節團イタリー訪問」のニュース映畫を滿映に齎らしたが、現像の結果すばらしい出來榮えなので滿映では關係者を招待、來る十三日午後六時半から西廣場滿鐵社員俱樂部で「防共親善映畫の夕」を開催、右映畫の試寫を行ふことゝなつた、當日のプログラム次の通り

1、「防共の契り」二卷
2、「滿洲國訪歐修好經濟使節團イタリー訪問」二卷
3、「アルプスの槍騎兵」十卷

喜多流素謠會

國都の喜多流謠曲同好者を以て、去月創設された新京喜多會では、來る十一月十三日（日曜）午後一時より、中銀俱樂部に於て第二回素謠會を催すことになつたが會費一圓五十錢、喜多流ファンの多數參會を希望してゐる、幹事は中銀調査課の星野氏で尚當日の番組は左の如くである

湯谷、紅葉狩、船辨慶、土蜘蛛

「滿洲映畫年鑑」の發行企畫成る

滿洲映畫協會は劇、文化兩部門に亘つて陣容を强化し滿洲國映畫文化の爲に明年七月の新スタヂオ完成を待ちつゝ全面的飛躍の緒についたが、それに對應して印刷物によるこの映畫文化活動の側面的援助の必要が起り、從來發行の「滿洲映畫」日・滿文兩版の外に映畫に關する諸種のパンフレット類發行の計畫が成つたその中でも注目すべきものは滿洲最初の「滿洲映畫年鑑」發行の企畫決定された事で、編輯室において既に着々準備が進められてゐる、內容は滿洲映畫、日本映畫、朝鮮映畫上海映畫、歐洲映畫その他滿洲國映畫を構成する映畫全部に關する詳細、精密なる動向調査、統計その他それら映畫に關する一切の記錄の蒐錄、集大成で第一版の發行は明年七月新スタヂオ完成頃となる模樣である。

雜音

帝都キネマ寫眞替り初日は金曜日スタートにじては客足平調の傾きがあつたが、プロは二本ともかけ値なしの佳作▼新しく入るドイツものゝ封切にも未だ暫く暇がかゝりさうだし、まことに殘り少い洋畫の中にあつて「ジエニイの家」の登場は渴を癒するのであらう、次は「第九交響樂」後に「望郷」イタリーものゝ「レピオネ」などあるが、目下のところ封切日取りは未定らしい▼內地では四十本のアメリカ八社ものが待機してゐる、新しい映畫雜誌のグラフを見てつくづく羨しいことに思はれる

寶塚少女歌劇團

【ワルソー十一日發國通】目下ベルリンに滯在中の日本藝術使節寶塚少女歌劇一行はドイツ訪問の豫定を全部終了したので來る二十六日ポーランド首都ワルソーに向ひ二十八日より三日間當地のポーランド劇場で公演を行ふことゝなつた

サボテン

赤玉の乙女クンの戀愛論は有名なものだが結婚を希求する熱烈なる論だ▼事情さへなかつたら誰がこんな滿洲くんだり迄來ますか、彼女はいふ、でも滿洲は君に飯を食はしてゐる、と仙人掌子はいふ▼それはさうねと彼女暫く考へ込んで、でも滿洲の男は戀愛（へ即結婚）の對象にならないといふ譯ではないのよ▼暫く休んでゐた錦グリルが經營者を變へて再び開業した、年增が二人でサービスをしてゐる、アッパッパを着てサンダルといふいでたち、颯爽として仲々愉快な風景である

晝夜用心記（ちうやようじんき）

三村伸太郎・作
木下大雍・畫

（一五）

南風北風（四）

練兵館の氣風から推しても、さだめて、侃々諤々の攘夷勤王の論議が、時代の風潮にのつた下級轄藩の血氣にはやる若侍達の口から、激しい竹刀の音の合圖々々に逆のぼり出たのであらうことは、想像が出來る。

が、今、柳瀬彌三郎が、多少なりとも、練兵館の氣風に觸れして――いや、そこに、氣負ひ猛つてゐるところの水戸長州の青袴達に向けられた言葉の中に、不滿や不快な感情のおりのようなものが含まれてゐるとすれば、それはさりもなほさず、柳瀬彌三郎の、時代の風潮に對する感覺的な反撥であつた。

彼等が攘夷勤王の新しき思想を身につけてゐるといふ自負と、殊更に、そのために奇言奇行な振る舞を敢てするような思想的な薄汚さに眉をひそめたのである。

若いのに似合はず柳瀬の腕前の冴えてゐることを、小次郎は知つてゐた。

竹刀を取つて、立ち向ふ時の氣合の鋭さは、錚々たる猛者揃ひの練兵館の中でも、目に立つ方であつた。

人の出入りの多い練兵館で柳瀬の眼が、絶えず、それらの新鋭の人物のうへに配られてゐるところを見ると、何か別な目的があるのに違ひないと、薄々小次郎は、氣づいてゐた。

兩國橋の袂に出ると、柳瀬は、立ち止まつて、小次郎達に、別れの挨拶をした。柳瀬は、本所の方に住んで居るのだといふ。

『久し振りで會つたのだし、よかつたら我々と一緒に、その邊まで交際つてくれませんか……』

小次郎は、柳瀬に、好意のある微笑で、かう誘つたが『有難う、私もお交際したいのですが、妹が、すこし身體が悪いものですから……』

『お妹御が……それはさうも殘念ですな……お大切になさるように』

『どうも……』

柳瀬は、小次郎達と別れて兩國橋を渡つて行つた。

國許からもう屆かなければならぬ筈の老僕の孫兵衛からの音信は、ぷッつりと絶えてゐる。

尋ねる敵の山下茂兵衛の在所は、いまだに雲を攫むような有樣であるし、そこに持つて來て妹の雪江の病氣である（運が悪い時には、悪いものだざいふが――）

柳瀬は、心の中で、かう呟いて見る。

今日も途方に暮れて一日歩き廻つて、得た收穫といへば闘ッ引に怪しまれただけである。

何時の間に降り出した雨であらうか。柳瀬彌三郎は、その雨にも氣づかぬ如く、ぐつしよりと濡れて歩いてゐる。

次から次へと續いて來る不幸や不運に、何かしら漠然と現實に對して激しい憤ほりを覺える。その冷然と燃えさかる心中の憤ほりを、柳瀬彌三郎は、ことさらに、雨に打たして歩いてゐるのであらうか。

柳瀬に降りかゝつた雨は、小次郎と源兵衛に、駒形あたりで降りかゝる。

『源兵衛、何處に行くつもりだ。雨が降つて來たてはないか……』

『うむ、降つて來たな……まア降る物は、降らしておいて何處かで飲まうか』

『成る程、これは四軒町の傘張り職人にしては、ちと出來すぎてゐる』

『その代り、宍戸、おれは今日は少し眞面目な意見をするが、聞いてくれるか』

『何んの意見だ――！』

小次郎は、ちらと源兵衛を見る……源兵衛、相變らず、けろりとして、どこを風が吹くかといふやうに

『さうだ、仕官をする氣はないか』

『仕官……？』

これはまた、藪から棒のようなものである。

源兵衛の口から、仕官の話が出るとは、甚だ奇異である。

おのれは、あたら浮世の風を糊臭くするその日暮しの傘張りの分際で、よし五石二人扶持の雀の餌ほどの俸祿にしても、先づ、おのれを先にするのが、當節の人情ではないか――。

商況欄（十二日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅六志七片二分一

紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	一九片八分五
同先物	一九片二六分五
紐育銀塊	休會
孟買銀塊	五〇留比一六分三

▲市俄古小麥

十二月限	休
五月限	
七月限	會

▲紐育棉花

現物 十二月限 一月限 三月限 五月限 七月限 九月限 世界大戰休戰記念日に付き休會

▲印棉

ブローチ	一九六留比八分七
オムラ	一三三留比八分五
ベンゴール	一二〇留比二分一

カルカッタ麻袋

鐵筋	一二三留比四分一
青筋	一二五留比一六分二

▲紐育株式

スチール株世界大戰休戰記念日に付き休
アナコンダ株世界大戰休戰記念日に付き休

外國爲替

米英爲替	世界大戰休戰記念日に付き休會す
米日爲替	
米支爲替	
米佛爲替	
英米爲替	四弗六三仙七五
英日爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	八片四分一
英佛爲替	一七八法郎八七
印日爲替	七八留比八分五

▲滿洲中銀爲替

紐育向	一志二片八分〇
倫敦向	一志二片〇〇五

阪神爲替

對米賣	二七片八分五
對米買	三〇分三
對英賣	一志二片〇〇
對英買	六分一〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]
洋替	[illegible]	[illegible]
日船	[illegible]	[illegible]
郵新	[illegible]	[illegible]
同石	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]
日業	[illegible]	[illegible]
滿工	[illegible]	[illegible]
電電	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]
滿新	[illegible]	[illegible]
鐘曹	[illegible]	[illegible]
日曹	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

大新 新東 鐘業 滿營 日 — [illegible]

▲大連株式（短期）

五品 東新 滿業 同新 鐘紡 滿鐵 士木 豆新 大新 — [illegible]

各地商品市況

大阪綿糸

十二月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 — [illegible]

▲大阪綿布

十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 — [illegible]

▲大阪棉花

十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 — [illegible]

▲大阪人絹

十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 — [illegible]

▲大阪期米

當限 中限 先限 — [illegible]

▲横濱生糸

現物 當限 先限 — [illegible]

各地特產市況

新京

●大豆 現物 十一月限 十二月限 寄引 — [illegible]

大連

●大豆 寄付 — [illegible]
袋入 — [illegible]

手形交換（十二日）

[illegible]枚 [illegible]

東京・本郷・神誠社

日曜 己酉 赤口 開 房宿 十一月十三日 舊九月廿二日

●一白の人 光輝ある先途を開かるゝ吉日氣を緩めるな 乙と丙と乾か吉
●二黑の人 氣の落付かざる日人の誘ひに乘る時は危し 庚と癸と艮か吉
●三碧の人 英氣を現す時は不利に陷る守成が寧ろ安全 甲と丁と申が吉
●四綠の人 實意ある言と虚妄の言とを誤り易き注意日 乙と坤と申が吉
●五黃の人 商事は注意すべきも他の事は凡て進みて吉 巳と辛と子か吉
●六白の人 柔弱の風を生じ易し得る事も果しがたき日 丙と庚と癸か吉
●七赤の人 運氣の開け行く日名弘め開店建築何れも吉 巳と辛と壬か吉
●八白の人 出世の途開け來る好運日增資新築何れも吉 庚と癸と艮か吉
●九紫の人 外にありて爭を高ふすれば內に難みを增す 甲と壬と癸か吉

廣告の御用命は 電話３三三〇〇

大正九年十月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局(3)二三一五 營業局(3)二三〇〇
發行人 松本榮忠 編輯人 十河勇 印刷人 水越內之介

海防線を大擴充

殘された海外通路强化に 蔣政府、必死の對策

【海防十二日發國通】昆明からの情報によれば、廣東なき後の支那海外通路は今後專ら雷州、溫州及び佛印の海防經由とする事となり國民政府は英國系の太古、怡和兩汽船會社をして兩社の香港海口(海南島)北海(廣東省)海防(佛印)線を最大限に增發せしめることになつたと傳へられる、右のうち殊に佛印通路は重視され桐油、茶、豚毛等支那主要輸出品も今後は主として海防より輸出される模樣で、怡和洋行は從來一週一回程度の不定期海防線を十二日以降今月末までこの半月間に六回に增配する等目下必死となつて香港の支那軍需滯貨の回送に當つてをり、而も同社で買受けた支那船數隻が就航してゐる

中共、蔣擁護を闡明

遂に抱合心中の末路へ

【香港十二日發國通】去る九月末陝西省西安において中央政治局會議を開いて時局問題を討議せる中國共產黨は廣東武漢陷落により激變した新情勢と抗戰新段階に對處するため最近西安において中國共產黨第六次中央全體委員擴大會議を開き黨の新方針を決定したと傳へられる、參政會と前後して行はれた擴大會議の決定は第四期抗戰の樣相に重大影響を及ぼすものとしてその政治局面への反映を注目されてゐるが、右擴大會議は去る五日大會名義をもつて蔣介石並に國民黨執行委員會宛通電し、蔣介石が發した國民に告ぐるの書を禮讃し中共は國共の關係を親密にしあくまで蔣介石を擁護する旨闡明した、かくて蔣介石は共產黨との抱合心中の已むなき內部的幾多の矛盾を包藏しつゝ遂に救ひがたき末路を辿りつゝある

蔣、獨裁制强化を策す

【香港十二日發國通】トランス・オーシャンの報道によれば、蔣介石は抗戰第四期の難局打開のため從來の獨裁的權力を一層强化して今後政治的重大決定はすべて彼自身の判斷に基き獨斷專行することゝなつた、軍事、外交の諸問題も今後はあげて蔣の完全な獨裁に歸するだらう

余漢謀のインチキ 大金持つて遁走

【香港十二日發國通】廣東拋棄で蔣政權側と華僑から多大の恨みを買つた余漢謀は抗戰繼續の談話を發表したり辭職を申出でたり盛んに新聞を賑はせてゐるが何處にゐるのか皆目居所不明で更に十二日の紙上でそのインチキ振りが暴露された、即ち支那紙報道によれば十月十六日蔣介石から廣東防衛軍費として三百萬元貰つた余漢謀は忽ち抗戰の看板を下し更に行きがけの駄賃に廣東省銀行から二百萬元を持ち出して姿を晦ました、一方廣東民衆自衛團指導者蔣光鼐、蔡廷鍇並に第四路軍第一軍長香翰屛等諸將領はわが急追に辛うじて生命の危險を免れたるにも拘らず最近しきりに遊擊戰術によるわが後方攪亂を宣傳しつゝあるが、彼等の實際的目的は今次余漢謀の失脚に伴ひ從來華僑方面より彼に與へられてゐた財政的援助をそのまゝ自己に振り替へしめんとする泥縄的計畫と見られ消息通間の冷笑を買つてゐる

第四區正副司令官に 何、白を任命

廣東省政府を徹底的に改組

【香港十二日發國通】廣西省桂林來電によれば、蔣介石は本月七日湖南省衡陽において最高軍部會議を開催した結果敗將余漢謀を排して何應欽を第四區司令長官、白崇禧を副司令官に任命すると同時に廣東省政府を徹底的に改組し、吳鐵城以下各廳長の更迭を行ふことに決定したといはれる

武漢放火の遊擊隊檢擧

【漢口十二日發國通】皇軍占領後の武漢は治安の確立とゝもに早くも復興の機運橫溢、支那商人および商店の開店するもの日每に增加してゐるが、この數日來不審なる出火事件が續發、明朗武漢の建設に一抹の暗影を投ずるに至つたので軍當局は斷乎眞相の究明に着手した結果、右は敵遊擊隊放火班の仕業なることをつきとめ十一日犯人一味を檢擧した、彼等はわが軍の入城とゝもに組織的に市內の空屋等に放火して武漢の復興を妨害し治安の攪亂を圖らんとしたもので、なほ相當勝類者がある模樣であり、軍としてはこれ等不逞の徒輩に對しては今後も斷乎嚴罰に處する方針をもつて臨んでゐる

皇軍、岳州に入城

詩都に將兵の感慨無量

【漢口十二日發國通】中支軍十二日午前十一時發表=粤漢線に沿ふ地區を進擊中なりしわが部隊は十一日午後九時十分洞庭湖畔の要衝岳州を占領せり

【岳州十二日發國通】岳州城に對し徹宵猛攻を加へた皇軍は、十二日拂曉大日章旗を先頭に岳州に堂々入城した、風光明媚その名を世界に謳はれた洞庭湖が果しなく擴つてゐる、樓門高く聳ゆる岳州城を仰いでは古の杜甫を想ひ、支那文化の興廢の歷史を回顧して眞に感慨無量なものがある不眠不休の急進擊に疲れたわが將士も、洞庭湖の水で口をそゝぎ顏を洗ひ、雅びやかな詩の都の姿に眺め入つて、いまあらゆる勞苦も忘れ果てゝ赭顏を紅潮させて古い歷史を回顧して感慨無量の面持である、その昔靜かに杖をひいた文人墨客も日の丸に覆はれた此岳陽城を夢想だにしなかつたであらう今皇軍將兵は一望無邊の洞庭湖畔に堂々の進擊を續ける部隊は整然と岳陽に入城、朝の靜けさを破つたのである

徐州會戰各部隊 上聞に達す

【東京國通】大本營陸軍部發表=徐州會戰において活躍し赫々たる武勳を樹てたる左記部隊に對し軍司令官より感狀を授與され、十一月十一日それぞれ上聞に達せられたり

荻洲部隊、藤岡部隊、同配屬部隊、吉田部隊、平松部隊

畑最高指揮官空から 第一線將兵をねぎらふ

【漢口十二日發國通】畑中支軍最高指揮官は十二日午後一時幕僚を從へ○○基地にて飛行機に搭乘、わが軍が占領した江南の要地咸寧、崇陽、通城及び陷落間もない岳州の上空を飛翔して親しく第一線の狀況を視察すると共に、武漢攻略の別動隊として輝く武勳を樹てた皇軍兵團に對し機上より通信筒を投下して將兵の苦勞を犒ふと共に感謝の意を表し、同三時廿分歸來した、地上にある將兵は何れも最高指揮官の溫情に感激し、日の丸の小旗や兩手を打振つて奮鬪を誓つた

▲通城占領部隊に對する最高指揮官の感謝文要旨

粤漢線を遮斷し武漢の死命を制するや戰塵を洗ふ遑もなく敗敵を[illegible]して要衝通城を陷れ[illegible]攻略戰を[illegible]しめ赫々たるその功勳[illegible]日の勞苦は感謝に堪へず

▲岳州占領部隊に對する感謝文要旨

戰塵を洗ふ遑もなく敗敵を急追して今岳州を陷す、思ふに兵團は常に最險最要の敵陣に當り隨所遺憾なく鞏强不撓の眞面目を發揮せり感謝に堪へず

なほ畑最高指揮官は十月十八日隘口街の第一線部隊を皮切りに去る九日からは江北の各戰線を飛行機で視察し、各兵團將士等の勞を犒つたが、この間畏くも賀陽大佐宮殿下には同幕僚として最高指揮官に御隨伴遊ばされ全軍將兵は只管感激した

上海完全占領一周年

【上海十二日發國通】聖戰すでに一年有半、今十二日上海完全占領一周年記念日を迎へ一年前の悽慘極まりなき激戰の想出は今なほ生々しく國民の腦裏に刻まれてゐるが、勇猛果敢な皇軍將兵の戰鬪力は僅かに一年にして敵の心臟部武漢の地を陷れ、更に十二日朝長江上流七百八十浬の要衝岳州完全占領の快報が齎らされ、また海軍側漢口一番乘りの陸戰隊松本部隊の凱旋があつた、皇軍の驚異的戰果の擴大は正に世界戰史上燦たる光輝を放つものであるが、想へば昨年八月吳淞敵前上陸以來約三ヶ月に亙る上海附近の惡戰苦鬪は今次事變の最大激戰であつた、われに數十倍する敵の精鋭が租界その他の障碍物を利用して抵抗、その頑强さは敵ながら賞讃に價するものがあつたが、身を鴻毛の輕きに比する皇軍將兵の前には遂に敵し難く、先づ大場鎭、江灣方面の敵陣崩れ悽慘なる陣地戰は一轉して秋空の下上海郊外の大平野を舞臺とする痛快なる追擊戰を展開した、かくて一年前の十二日南市城內の殘敵を掃蕩し午後四時半十六舖の稅關建物前の敵兵潰滅を最後として大上海は餘すところなくわが手中に歸した邦人の歡喜感激は今さらながら新たなるものがあるが、奇しくも十二日は支那建國の父孫文の誕生日であり蔣政權國慶記念日でもある、しかも重ねて國恥記念日たるの烙印をも捺されるに至つた

新裝成つた名古屋ホテル

昨夜、開業を前に全燒す

焰々猛火三時間に亙り荒狂ふ

師走をあと二旬に控へた十一月十二日午後十一時頃舊附屬地の中心地帶東三條通一八番地に國都隨一とその新裝を誇る將に開業直前の名古屋ホテルより出火、急報に接した祝町、長春大街兩消防署を始め首都警察廳田村副總監、中島司法科長、保安科佐藤警正以下管下各署及び北新京憲兵分隊と在京部隊より一部將兵出動これに應援、文字通り國都警備機關總動員下に必死の防火に努めたが、荒れ狂ふ紅蓮の焰は忽ちにして堂々四階建白堊の殿堂を舐めつくし十三日午前二時半頃に到り漸く鎭火した、損害約百萬圓と見られてゐる、原因は目下中央通署で嚴重取調中である【寫眞は猛火を吐く名古屋ホテル】

損害は約百萬圓 出火原因不明

同ホテルは三年前の昭和十二年六月二十九日出火全燒の厄にあひ經營者遠藤信平氏はホテルの再興を企て同年八月より起工個人經營としては全滿一の大ホテルを目ざして精根を打ち込み鋭意竣工を急ぎつゝあつたもので近代樣式鐵筋コンクリート四階建總坪二千二百餘坪室數六十國都銀座の一角に巍然と聳立する白堊の殿堂は自他共に許す一偉觀であつた而して十一月三日明治節の佳日をトして開業豫定のところ時局柄材料の入荷意の如く捗らずせめて本年中には開業せねばと使用人約卅餘名は新築に寢起して調度の搬入その他に晝夜兼行の大童の活動をつゞけつゝあり、正に開業直前の出火であり各方面の同情を浴びてゐる、午後十一時廿分頃通行人により出火を發見され急報によつて馳せつけた國都消防陣は田村副總監指揮のもとに全機能を發揮して防火につとめたが高層建築に對する機材不備のため消火意の如くならず舊館あと三階東南の一室から出火した劫火は忽ちにして三階を舐めつくし更に四階に延燒し施すべくもなく狂ふが如き紅蓮の焰は折柄の弦月淡き凍てつく寒夜に映へて一種悽愴、火々と火勢を增し遂に全館を燒失して十三日午前二時半に到り辛くも鎭火した、損害約百萬圓と見られてゐる突如として開展した慘絕なる火炎は國都人士の耳目を聳ひ野次馬で附近は黒山の人垣を造つたが、應援に馳せつけた憲兵隊、警備隊員、警察署員によつて秩序整然と整理され消防隊員必死の活動により類燒を免れたことは市民に力强き感銘を與へた、なほ出火原因については所轄中央通署に於て嚴重取調べ中であるが、この日大工、女中その他滿人傭人等ホテル關係者卅餘名が寢泊りしつゝあつたもの、いづれも一階にあり就寢直前の出火で、而かも出火場所は人無き三階附近と見られ本稿締切りまで不明である

三年前、そして今再び 精根つきる思ひ

悄然 營業主遠藤氏語る

名古屋ホテル營業主遠藤信平氏は灰燼に歸した殘骸を前に悄然として左の如く言葉少く語つた

三年前火災を起し再び出火致しましたことは社會的にやるせない思ひであります、現在の私は精根つき果てゝ氣も狂ひさうです……

保險金は卅萬圓 監督島氏談

工事は同ホテルの直營であり先代遠藤氏の頃より愛顧を受けその御恩返しの意味で奉仕的に自ら設計監督した島氏は語る

一昨年八月から粒々辛苦した總工費六十萬圓の建物も灰燼に歸してすつかり落膽してしまひました、保險金は起工當時三十萬圓かけてあつて、最近第二次として幾何かを契約の運びになつてゐた筈です

滿人ボーイ火傷

發火當時一階に就寢中の同ホテルボーイ山東省生れ王大路(四二)は直ちに三階發火箇所に駈け付け部屋の扉を開けた瞬間煽られた炎の爲顏面に火傷を負ひ直ちに濱田醫院で手當を受けた、全治約一ヶ月間の見込である

總裁辭任問題に無關係

佐々木副總裁談

滿鐵明年度豫算編成に關し過般來政府當局と折衝のため東上中の佐々木滿鐵副總裁は十二日午後四時四十五分奉天北飛行場着急遽歸滿したが語る

明年度資金調達について政府當局と折衝中のところ調查機關の調整問題について相談したいから直ぐ歸るようにとの招電を受けたので大急ぎで歸つて來た、自分の歸滿について東京の各紙は松岡總裁の辭任問題と何等か關係があるかのやうに傳へてゐるがこれは全く無根の推測に過ぎない、明年度の豫算についてはまだ交渉中なので何ともいはれない、政府拂込についても四千萬圓になるか、五千萬圓になるか今のところ全く未定だし、北支交通會社への出資額も決つてゐない、社債もさうといふわけだからどの程度に落着くか判らない、しかし新線建設、私設鐵道改良等是非ともやらねばならぬ事業費は政府でも充分諒解して居り、北支交通會社への出資その他新事態に即して明年度豫算は相當額を見ることは當然だらう用事の濟み次第再び東京に引返す豫定だ

人事往來

▲鈴木雅次氏(內務省土木局第一技術課長)十二日來京ヤマトホテル ▲橋本精吾氏(會社員)同 ▲木村長次郎氏(官吏)大都ホテル ▲山本嘉一氏(商業)同 ▲小川潮氏(自動車運輸業)同 ▲橋本政士氏(土木請負業)同 ▲藤井明氏(滿炭社員)國都 ▲八重樫善藏氏(東京エレベーター)同 ▲守口守次氏(金融合作社)同

偶語

凡そ人間世界に於ては先づ何よりも大切なのは人間である▼來るべき今次事變の跡始末に於て先立つものは金よりも物資よりも人間が第一である▼その點わが日本ほど人口資源に於て持てる國は世界に一寸類例を見ないであらう▼我國は往昔から子供は〃國の寶〃と言はれてゐる程大切なものといふことは一般に知られて居りながら餘りにも子供に關する知識の輕薄な國民も尠い▼これは春秋の筆法で云へば上御一人に對し奉り最も不忠者と云はざるを得ないことゝなる▼在滿邦人家庭の育兒狀態を見ても相當新知識を有する階級に於てなほ專門家が見るとき寒心に堪へざるもの多々あると云ふ▼我々は世の母に警告したい、折角授かつた寶を無智な女中まかせにして映畫鑑賞、お茶の會等々家庭を外に飛び歩く有閑婦人に墮す勿れと

社說　非常時と知識階級

事變がいまゝさに進行しつゝあるこの際こそ、知識階級が立ち上つて積極的に活動すべき時であるといふやうな論調を時々耳にする。たとへば「われ〳〵が歴史の創造に參加し得るやうな時代は決して闇黑の時代ではない。現在の時期を反動の時代と解する知識階級の間に彌漫してゐる見解は排撃されねばならない。反對に現在こそは希望に滿ちた躍進の時代である。知識階級は歴史の招きに應へて活潑に立ち上らねばならない。もしも彼等が依然として歴史の進行に參與することを拒みつゞけるならば、こんどこそ歴史は彼等を最後的に斷罪してしまふであらう」といふ如きである。

知識階級にこの自負があることはいゝ。そしてこのやうな自信から出發した活動は實際に社會の各方面に行はれてゐるのを見得ることは喜んでいゝのである。事變下に於ける學者、論壇人、文士等の活動の如きもそれである。しかしまたこれについては注意を要することもあらう。知識階級を勇氣づけやうとするのはいゝが、知識階級に對して過重評價を行ふことは誤りである。知識階級がこのやうにあまりに問題にされるといふことは、社會が病態であるといふことを表現してゐるものであるとも言へるのである。それは文化が弱いといふ事實を暴露してゐることでもあるのである。われわれは健康潑剌たる勤勞者の生活、國民大衆の生産的方面に於ける機能を忘れてはならない。

このやうな勤勞者の生活、國民大衆の生活、それと同じ方向に立つてのみ、知識階級はその活動を行ふことによつて歴史の進歴に貢獻することが出來るのである。單に表面的な事象のみを見て、自分たちこそ國民を引つ張り導いてゐるものであるといふ風に考へるならば、それは自惚れ過ぎるであらう。時代の良識の代表たらんとするはいゝ。しかしそこに地に即いてゐない弱さがありはせぬか、そのことを彼等は反省すべきであらう。あまりに知識や文化の自律性を強調してゐては、現實の生活から逃避した思想のための思想、知識のための知識になり終るのである。斯うした原因から生じてゐる知識階級過重評價はよろこぶべきではない。知識階級は自らの孤立性を捨てゝ全國民的觀點に自己を連繫させ、そしてそのなすべき任務に努力することが肝要なのである。斯くしてこそ知識階級の國策への協力が行はれ得るのである。もとより蒼白きインテリの囈語は拋棄さるべきである。知識階級は言葉の眞實な意味においての健康さを今こそ取り戻さねばならぬ。時局はそれを彼等に要求してゐるのである。

外國人と話をすると　强制勞働か銃殺
話以上に戰慄のソ聯内情

【東京國通】居住卅年のウラヂオを追はれ京城の知人を頼つて最近連絡船で入鮮した一女性の興味ある話がこのほど陸軍省情報部に齎された、この女性はユリア・ジユラノヴイツチ（四十八歳）といひ、フランス國籍を有するユーゴースラヴイア人であるが、彼女はウラヂオの事情について左のやうに語つた

□

ウラヂオでは外國人特に日本人やドイツ人との交渉は嚴禁されてゐます、ソ聯人であつた私の夫等も某日本人にピアノの購入について一寸口添へした廉で逮捕され三年間の强制勞働に就役、昨年勞働過度のため死亡しました、また私の知人でレニングラードにある娘に米貨を贈つたので外國人と交渉があると推定され五年間の强制勞働に處せられた人もあります、昨年ウラヂオ在留の外國人全部に對してソ聯籍に歸化するやうにとの布告があり、歸化しなければ居住權の有效期限を延長せず出國のやむなきに至るやうにしまた歸化した者は外國との關係を調査され大部分が强制勞役所に送られ、或は銃殺されます、今年六、七、八月にはウラヂオ全部にフアシスト、スパイ、トロツキスト等の大檢擧が行はれ市民の半數が或は檢擧され或は家宅搜査をうけ其結果市民の顔觸れは殆ど一變してしまつた位です、最も壓迫のひどかつたのは張鼓峰事件のときで十五日間燈火管制が行はれ、夜間十時後市街を通行する者で勤務先官公衙その他團體發行の證明書を所持しなかつたものは全部逮捕され、内務人民委員部の軍務局に送られ嚴重な取調をうけました、事件の進展に伴つて多數の負傷兵が送還されて病院は忽ち滿員となり、學校建物を臨時病院にする等大變な有樣でした、それからウラヂオは物價がひどく高いので生活費は最少五百ルーブルを要するのに大部分の人は三百乃至四百ルーブル以下の收入で市民の生活は悲慘を極めてをります、しかも今年は極東方面は一帶に大洪水があつたので農作物、野菜類は凶作で今冬の食糧難を豫想されてゐます、私はもうとてもウラヂオに住むことが出來ませんので安全な日本に來ました

米選擧最終結果

【ニユーヨーク十日發國通】米國中間選擧の上院改選の最終結果左の通り

民主黨（新議會六九、舊議會七六）共和黨（新議會二三、舊議會一六）その他（新議會四、舊議會四）

【ニユーヨーク十日發國通】アメリカ中間選擧の上院改選の最終結果は十日午後四時インデアナ、アイオワ二州を以て終り、共和黨は七名の増加民主黨は七名の減少を告ぐるにいたつた、政黨色別を見ると民主黨六九、共和黨二三、農民勞働黨二、進歩黨二、獨立共和黨一となりこれが新議會のメンバーである

【ニユーヨーク十日發國通】中間選擧の下院最終結果は十日午後十時に至り漸く判明したが、共和黨は從來の九十名から一躍百七十名に躍進してゐる、新舊下院の議員區別は次の通り

民主黨（新議會二二六、舊議會三三〇）共和黨（新議會一七〇、舊議會九〇）進歩黨二八、農民勞働黨一五
空席二

トルコ新大統領　イノヌー將軍

【イスタンブール十一日發國通】アタチユルク大統領の逝去に伴ひトルコ政府は後任大統領推戴のため十一日午前緊急國民議會を召集、國民議會は新大統領としてイスメット・イノヌー將軍を選出した、イノヌー將軍はトルコ共和國建國當初からアタチユルク前大統領の片腕として活躍、首相となること二回、最近は一切の官職を辭して閑地にあつたが、依然トルコの最長老として國民の信望を集めてゐた

英米の干涉を　支那紙が要求
示威的論說を掲ぐ

【上海十一日發國通】米國への國務長官の極東問題に對する意思表示についで英國下院におけるチエンバレン首相の演說並びにバトラー外務次官の答辯等英米兩國の日支事變に對する態度が漸次鮮明の度を加へるにしたがつて右に關する支那側の關心は非常な緊張味を帶び來り、十一日の世界平和記念日を期して支那側紙は一齊にその論說に於て國際問題に論評を向け來つた、即ち華美晨報は「國際援助の奪取」申報は「英國闡明の表示」庸報は「英米の極東政策」旬刊報は「日本外交の新らしき動き」導報は「表示された日本の本心」と題し何れも日支事變を繞る外交問題を取扱ひ時に英米の動きをとらへ論評を加へてゐるがこれ等諸論說の共通せる論調は

一、チエンバレン首相の英國下院における答辯は極東情勢を誤認せるもので態度は極めて曖昧である

一、英國は國際聯盟の指導的地位にありながら聯盟の決議を實行し得ない

一、英國は在支權益に多大の損害を被りながら近衞首相の東亞新秩序建設宣言に誘引されてゐる

一、九國條約は正に日本によつて破壞されんとしてゐる際英米兩國が眞に國際條約を尊重するならばこれを坐視するに忍び得ないであらう

武漢陷落後の國際關係の微妙なる變化に頗る神經過敏となり、かつ英米各國の日本に對する實力制裁はまだ準備が完了しないからその完了の時期を俟たざるを得ないと示威的言辭を並べ英米の執るべき途は聯合して日本に干涉を加へ同時に支那に對して大量の援助をなす以外にないと援助要求の魂膽を露骨に示してゐるがこれ等の輿論は全く國民政府の指導によつて造り出されてゐることに想到すれば敗戰に苦惱する國民政府の窮狀は想像するにあまりあるものがある

新堤附近で敵砲艦永績を拿捕

【軍艦〇〇にて十一日發國通】三國史に名高い古戰場赤壁を左に望みつゝ八日午後四時帝國軍艦遡江艦隊の前衞艦艇は威風堂々敵海軍據點新堤前面に進出、更に遡江を續けて午後六時漢口を去る百十二浬の螺山市の線に到達したがその際新堤上流二浬の北岸に巨體を乘上げてゐる支那軍艦を發見、不敵極まる〇〇艦の勇士五名は小舟を操つて巨艦に乘付け軍艦旗を檣頭高く掲げてこれを拿捕した、同艦は支那砲艦永績で海の荒鷲の爆擊を恐れてか檣も煙突も甲板もまだ生々しい綠葉の大枝でカムフラージしてゐたが、正に「頭隱して尻隱さず」の諺を地で行つたもので、江上よりは丸見えで艦上よりこれを眺めた勇士等は支那軍らしいやり方に失笑、爆笑、思はざる明朗風景が艦内に湧き立つた

曹侍從武官出發

酷寒に向ふ折柄治安維持に日夜奮鬪する日滿將士ならびに不幸傷き病床に呻吟する白衣の勇士慰問のため皇帝陛下より御差遣の曹侍從武官は十二日午前八時十分新京驛發列車で延吉へ向つた

故古城少將の絶筆（上）

マンチユリア・デーリー・ニユース社長陸軍豫備少將古城胤秀氏は十日午後大連市初音町の自宅で、國民精神作興講演會における「東京大震災を追想し今次事變に及ぶ」の講演草稿を執筆中震災直後下し給うた精神作興詔書を拜誦して高潔憂國志士肌の古城少將は今次事變勃發以來夙夜大御心を痛めさせられる聖慮と、非常時に對する國民の認識缺如を慨嘆して感極まり、血涙を揮つて一氣呵成に稿を纒め、愛用の軍刀をもつて眞一文字に割腹した、右草稿は左の如く國家多難時を强調するに畏くも國民精神作興御詔書の有難き御言葉をもつてし、更に時局下國民の一層の緊張を促せるものであるが、全文は左の通りである

□

國民精神作興御詔書は今より十五年前大正十二年九月一日東京大震災後の十一月十日下し給ふた御詔書でありまして東京大震災直後九月十二日には震災直後の救援や復興に關する對策に關し有司及國民を激勵し給ふたものと拜察される、御詔書が降されましたこの震災直後の九月十二日の御詔書の中には

在京有志能ク朕カ心ヲ心トシ迅カニ災民ノ救護ニ從事シ嚴ニ流言ヲ禁遏シ民心ヲ安定シ

との御言葉を拜し承ります時恰かも加藤内閣變動あつて山本權兵衞内閣成立しこの詔書を下し賜はつたもので、その中に

惟フニ天災地變ハ人力ヲ以テ豫防シ難ク只速ニ人事ヲ盡シテ民衆ヲ安定スルノ一途アルノミ

と御示し給ふたのであります當時私は參謀本部に在勤して居りましたが幾多の貴重なる體驗を得ました、その中でも流言蜚語が盛に飛び夜は電燈なく街々に自警團が組織されましたのも當時でありまして私でも參謀本部から中野へ歸るまで數十回も角々で止められ先づ苗字を言へと訊かれ軍服を着た者でも容易にやすやすと通行出來なかつたことを覺えてゐます、暗黑中井戸に毒を投ずる者ありとの流言まで流布されました、間もなく各師團より軍隊が特派され自警團も逐次解散されて警戒に就き平時狀態に復したのでありまして、その民心の動搖は想像以上に大きいものでありました、この大震災後の教訓といたしましては市民の油斷と不用意が大事を惹起したことでありまして午前十一時五十八分炊爨當時の瓦斯口を點火した儘に飛出し直ちに火災を市中各地に起しましたのであります、武藤參謀次長閣下の沈痛振りは今でも追憶の一つであります、會議は震災激震あつてもそのまゝつゞけられ、泰然自若二階の自室に終始されました事は一般避難者に洵に不言實行の模範を御示しになつたと拜察しました他の一例は市民の準備と用意が平素より整つて居り全然被害の無かつた一區域がありました、これは淺草觀音附近一帶であつて青年團、消防隊の手配と、觀音樣の御蔭だとして益々觀音堂拜參者が激增しました、この東京、京濱の大震災被害は今度上海に參りまして松井軍及海軍陸戰隊が奮戰しました一帶の燒跡市街に髣髴たるものがありました、この上海方面は飛行機よりの爆彈投下がありましたので東京の燒跡より一層悲慘な光景でありました、東京の震災被害狀況中最も悲慘だつたのは本所被服廠跡四萬餘の死者これは空中酸素の缺乏から死亡した者が多い、また簞笥家具等を餘りに持込み之から火が出たゝめ被害が多かつた、これも平素よりの避難者收容に就て大體の計畫があつたらこんな事はなかつた、山本權兵衞總理大臣が宮城に召され攝政宮殿下より下し給ふた大正十二年十一月十日國民精神作興の御詔書は本朝忠靈塔前にて大連市長が奉讀されました通り

朕惟フニ國家興隆ノ本ハ國民精神ノ剛健ニ在リ之ヲ涵養シ之ヲ振作シ以テ國本ヲ固クセサルヘカラス（下略）

と御示し給ふた、わが國が今日の大をなした往時の歴史を辿りますればこの御詔書そのものを歷史化したものと追懷拜承致すのであります、極東が明治維新前多年にわたり歐洲列強より侵略せられたる事實を追懷し殊に大連に七十七年前英佛大艦隊が入港した當時の歷史を想ひ起すのであります

廣東西方　地理的懷古（九卅）
大宮權平

秦始皇三十六郡の一たる南海郡治は、現廣東市にして、爾來南海の稱は、幾變遷ありたるも、現在は支那四大鎭の一として呼ばれたる、廣東市西南四十支里の、佛山鎭の南海縣治に存す、此地廣三鐵道の大驛にして、商業殷盛なり、鐵道の終點三水は、北江西江の合流點にして、一水分派し廣東市に通じ、水陸運輸至便の良なり、是より西江を遡りて通縣肇慶府あり現在高要縣治とす、此東南に爛柯山聳え西江を隔てゝ鼎湖山一名高峽山あり此峽間を羚羊峽、別名高峽と稱す、唐宋以來有名なる端溪の硯石は、此地の産にして、上巖、中巖、下巖の別あり又水坑旱坑とも分ち、舊坑新坑とも別稱し、石質に三種あり（詳細は省略す）愛硯家の等しく垂涎措かざる所、現今にては昔の住石を得ること至難となり、業石者は考材に、花卉人物等を彫鐫し、石の瘢痕を掩蔽し、良材の如く裝ひ貴價を貪るといふ、縣北に鼎湖山慶雲寺あり唐高僧智常禪師の開基として明代に憨山大師駐錫し、又棲壑和尚卓錫し嶺南に於ける法城として顯著なり、附近瀝湖七星巖有名なり、宏閉せる巖壑、數百人を容るべく、傍に清泉迸湧し一大奇觀を呈す、其内の屏風巖に古寺あり巖内に土語に鷄蛋木と呼ぶ異樹あり、枇杷に似て其花黄色交ゆるに淡紅、其形扇狀、寺僧乾して茶に代用す、肇慶は明末、兩廣總督丁魁楚等が、永明王朱由榔を擁立し、永曆と改元し、陣容を整へたるも南風競はず、遂に敗れて廣西の南寧に走り又却かされて雲南に遁竄し、追及せらるゝに及び僅に逃れて緬甸に入り、終に緬人に捕はれ淸軍に送られ吳三桂に殺さる、此の落魄零丁、悲慘行程を辿せし、滇緬の經路は恰も現代蔣介石の、將さに辿らんとする前例を示しあるものゝ如し、倚西江を遡りて、德慶縣に達す、此地漢代より端谿の名を以て聞ゆ、爲に往々端溪と紛雜するとあり、其西の古邑を廣西省蒼梧とす、桂江西江の合流地點にして、古代舜帝南巡、蒼梧の野に崩ずとありしを以て、此流域一帶の蒼の一字を以て代表し西江は一名鬱江と稱し、其流域は鬱字を以て代表す、佛蘭西の援蔣、武器輸送の經路たる南寧は此流域中央部に位置す、唐代邕州といひ、爾來邕字を以て此地を標はし、廣西全省の別名となすに至る、支那全土廣しと雖も、一字にて各其地域を示現するの便宜あるは文化複雜の趨勢に對し、大に進步したる習慣として、要用するに足ると認めらる。（一三ノ一一ノ一〇）

岳州は水陸交通の要衝

【軍艦〇〇十一日發國通】岳州は揚子江口より七百八十浬、漢口より百三十三浬の上流に位置し、東西六十浬、南北三十浬、四千二十方浬といふ支那第一の大湖洞庭湖の咽喉部を扼し且つ粤漢線の重要地點で、水陸交通上の要衝である、この地は古來幾多の戰爭に輸送上軍事上の要地となり一九一一年以降南北兩支の爭奪地點となつた所で、一八九九年開港されたが、商業はあまり盛んでなく人口は二萬餘に過ぎない、城内中央に屹立する岳陽樓は三國呉の大宰相魯肅の建造したもので樓上より眺望する洞庭湖の美觀は杜甫の登岳陽樓をはじめ幾多詩人によつて絶讚されるところである、岳州對岸にそびえる君山は瀟湘八景の洞庭秋月をもつて知らるゝ名山である

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金二萬六千百二十七圓十五錢五厘（[illegible]）
一[illegible]千三百五十個（同）
一金七十圓 軍用家畜慰問金（同）
一金三百圓也（國防獻金へ）
一〃五千一百六十八圓三十四錢（[illegible]へ）
累計 三万千六百四十五圓四十九錢五厘
……十一月十日迄の分……

（第三種郵便物認可）

讀者の領分

投書歡迎　中傷不可

園藝協會の成立を喜ぶ

人生に於ける『美』の追及の努力が種々なる方面に開拓されて行つた足跡、それは宇宙の『眞理』を追及し或は『善』を追及して行つた人々の足跡と共に人類の文化史上に消すべからざる功績を殘して居る。而して吾々園藝人はその『美』の表現を音樂、繪畫、彫刻等の如き方法によらずして直接自然そのものである花卉樹木等の上に表現しようと許るところその特異性を持つのである、松吹く風を天女の奏ずる音樂の調べと聽き、滿山の紅綠を巨匠の大名畫、大彫刻と觀ずると云ふのも確かに直接自然そのものに對しそのことではあるが、これは大自然に手をふれず、大自然そのまゝの中に『美』を發見する行き方であるのに對して吾々園藝人の行かんとする道は大自然をとりもちひ大自然を材料として更に高き『美』を創造し、そしに神人一如の境地を開拓しようと云ふところにあるので、彼のふところ手をして森羅萬象に向ふ觀念的消極的行き方であるのに對して我は手を泥まみれにし額に汗を流して築き上げんとする實際的積極的行き方であるところに更に一段と特異性の輝くものが存するのである。以上は横に園藝の文化的努力の分野に就て一言したのであるが、更に縱に園藝の文化民度の深淺に沿ふた斷面を一考せたに所謂園藝熱と云ふものは常に文化とその步調を同じうして居る、極言かも知れぬが園藝熱の高低即文化の高低とすら言へると思ふ。歐洲諸國と日本とに於ける園藝業者の實際を書籍により見ても思ひ半ばに過ぐるものがあるが、それにも增して著しい相違を感ずるのは日本と滿洲との園藝業者の實際であらう、いわんや造園業者に於てをやである。畏れ多い話であるが、滿洲國皇室の御紋章である『蘭』に就ての研究を見ても、金綾邊らん、劍らん、春らん、野生らん等の所謂滿洲で作られる方法が單に普通の土又は砂利を用ひ、專門的の栽培法としても、鹿の子土又京都の七條土等を用ふる程度の原始的域を脫し得ないのに比して彼のオスマンダー（シダ類）を用ひて栽培するカトレヤ、バンダ、シンブリペデユーム等の西洋らんがその種類栽培法に於て如何に進步せるものであるかを見その花の姿に於ても楚々たる田舍娘と娟研たる天女の差であることを看取する時吾々在滿の園藝人は腕によりをかけて奮起一番せねばならぬ。

この度創立された新京園藝協會の任務たるや誠に重且つ大である、顧るに我が新京には十數年以前即ち長春と稱して居た時からこの種の會があつて同好の士相競ふて無味乾燥な北滿の野に大いに園藝趣味の花を咲かせた事も再三あつたが、結局自然消滅と云つた形になつて萎んでしまつたことは返す／＼も殘念なことである。この度新京特別市當局と云ふ立派なお母さんから新京園藝協會と云ふ一粒種子の一人娘が生れたことは何と云つても嬉しいことで父親である我々在新京の園藝人は双手を擧げて慶賀祝福せざるを得ない。虫のつかない樣に美しくさかしく伸び／＼と育てゝ行く力は只一つ我々の『愛』である生家が首都家と云ふ本家宗家である丈けに全滿の分家がこの子の行く末を片唾を呑んで見て居るので百の理論より一つの實行どうか首都家總動員でこの『愛娘』を滿洲一の良い娘に仕上げたいものである。（園藝協會一幹事）

濱江省の草原に一大牧農場計畫

調査研究班基本調査に着手

濱江省安達、肇東兩縣草原地帶を中心として一大牧農王國建設計畫が結城省次長の提唱により省市公署をはじめ關係當局において目下愼重考究されれ北滿產業開發上各方面よりこれが實現の要望熾烈化しつゝある、即ち北滿においても原始的草原地帶として有名な濱江省內安達、肇東地方の利用、更生問題に關しては夙に考究されたところであるが未だその實現を見ず省當局においても、これが積極的具體化につき現地調査その他基本的研究を進めた結果

一、北滿產業五ケ年計畫を基調とする農村開發ならびに牧畜振興
一、移民地開拓助成
一、農地造成計畫
一、軍馬補給

等重要國策遂行上その必要性を痛感し市公署秋山技正を主査として調査研究班を組織し着々基本準備を進めつゝありその結果は多大の期待をかけられてゐる

適道炭開發に移民團を移轉

牡丹江省寧山縣適道炭礦近くに埋藏量七億噸の大炭脈が發見され燃料國策に朗かな凱歌を上げたが、新炭礦は城子河の移民地のため移民團側より横槍が出て行惱みの所、その後移民團側でも戰時體制下に於ける燃料資源の重大性に留意する所あり一度に移民團全部を移轉すべく目下新しい村落を物色中である、滿炭側でも移民團側の大乘的態度を大いに喜び新移民地へ移轉に要する一切の經費を支辨する豫定と云はれるが、その價格は廿五萬圓見當と稱せられる、滿炭側では移轉後直ちに七億噸の埋藏石炭の採掘にとりかゝる筈であるが、埋藏量十億噸の撫順炭礦に次ぐ城子河の大炭脈が戰時體制下に與へる經濟的資源は大なるものがある

滿日亞麻增設地

政府の產業五ケ年計畫に呼應積極的生產擴充に乘出した滿日亞麻では治安關係からさきに內定の同社來年度五工場增設計畫の豫定地を一部變更、この程濱江省內巴彥、山河屯の二ケ所を正式決定三江省內における建設候補地は綏肖、佳木斯の中一ケ所を目下選定中で、合計三工場の確定を見たが、豫定殘りの二工場は場合により建設取止めとなる模樣である

鴨綠江河口の築港問題

今月末安東で朝鮮側と協議

東邊道の開發を控へ鴨綠江河口の築港個所に關し安東となすか多獅島となすかにつき過般新京に於て滿鮮當局者間に協議が行はれたが、意見の一致を見るに至らなかつたので滿洲國政府は今月末安東において朝鮮側と技術者をも交へて滿鮮連絡會議を開催する事となつた模樣で、今回の會談で築港場所につき兩當者間に最後的意見の一致を見るのではないかと期待されてゐる

北滿方面にも大興公司進出

全滿質業の統一を目指す

大興公司では最近の北滿における開發の進展に伴ひ同方面の居住滿人の要望に副ふべく專ら北滿方面に營業範圍を擴大しつゝあり、現在數百六十九ケ所、三百三十店（營業所三二四、支店五、本店一の質網を張り、本年仲秋節前後においては二千七百萬圓（昨年同期一千七百萬圓餘）の融資を行つたが、經營困難なる個人營業質屋に對しては買收をも行ひ民利增進のため全滿の質業統一を目指してゐる、同公司貸出の回收率も良好で抵當流れは百分五見當と見られ本年一月以降九月末に至る貸出、回收累計、殘高並びに同期における新設店數、十月中新設個所次の如し（單位圓）

項目	數
貸出高累計	六六、八四七、七四四
回收高累計	四五、一二四、〇八二
月末質貸殘高	四七、七六八、八四七
自一月至九月新設營業店	九二店

（買收による新設を含む）
營業　四店
買收　四四店
內譯　買收後新設　二三店
　　　資本併合　二一店

十月中新設個所
一、北鎭縣南大街文化胡同
一、錦西縣高橋中央街路
一、牡丹江東長安街
一、新京長安路小廟街
一、哈爾濱市道外南十六道街
一、拜泉縣民生大街

尙同公司笠井監査役の任期滿了による改選は本月下旬臨時株主總會開催の上決定されるはず

米穀配給實業組合 州內に近く結成

關東州內の米穀商は配給實業組合を結成すべく準備を進めてゐたが、十日遼東ホテルに打合會を開き糧穀會社より配給を受け不足分は內地より供給を仰ぐことゝし近くその結成を見ることゝなつた

松花江流氷開始

北滿の心臟哈爾濱は極寒の挑戰に對して武裝準備に大童だ 松花江名物流氷も十一日早曉より開始されキタイスカヤ碼頭附近には銀盤行進の前奏曲が水面に響き亘つてゐる、今年は昨年に比して四日早く白鯨進軍の一大壯觀が展開されるのも間近かに迫つた

支那向綿糸既約定品一部輸出

【大阪國通】圓ブロック內輸出の制限に伴ひ支那向け綿糸既約定品は六月廿日の積出禁止以來輸出商の手許に停滯しためにに金融梗塞を來たしその急速なる解決が必要となつてゐたが、日本綿糸布東亞輸出組合では、この程漸く商工省の諒解の下に左記の如き措置をとることに決定、十四日大阪繊工聯會館に臨時總會を開いて附議、正式承認を得た上實行することゝなつた この解決により輸出商の手持ストックは著しく輕減するので業界もやゝ明朗化するものと期待されてゐる

一、支那向け、品種は全部組合が買上げその後は一般入札に附して組合員に販賣する
二、殘餘は（五割）支那向けに既約定してゐる組合に對して各その約定割合によつて分割す但し入札平均年に相當する代金を支拂輸出するを得
三、組合から買受けたる日の翌日より起算し六ケ月以內にこれを輸出すべし

錦ヶ丘高女生 母國修學旅行記

第六信　小竹森愛子

八時半出發。よいお天氣。黄色の遊覽バスに分乘して上野公園を最初に車中より見た西郷さんの銅像がぬつと立つてゐて上野公園の內容は樹木の爲分らない。日本橋通、銀座等繁華な町の朝はほこりつぽくて疲れた樣に見える。三越、松屋、白木屋、松坂屋等々大きな百貨店が並んで見える。他の建物も大きいけれど百貨店は一般に大きい。お買物が樂しみ。御殿の樣な歌舞伎座の前を過ぎて最初の下車見學、宮城に向ふ。櫻田門より足並みをそろへて二重橋の見える所まで砂利をふんで行く。最敬禮をして御座所を遠くより拜す。濃い綠の形の良い松黒ずんだ屋根の瓦眞白な壁、宮城前の整然とした美しさ壯嚴な景色は他に類がない。記念寫眞を取る時或る團體が先頭のブラスバンドの奏する愛國行進曲に步調を合はせ手んでに日の丸を持つて意氣やう／＼と來る。漢口陷落の旗行列だ。定められた場所に着き日の丸の旗を高く擧げて萬歲を三唱した。それ等の人々を見た時東京に住んでゐるこれらの人々をたまらない程うらやましく思つた、二重橋の向つて右の石垣の土手の上で宮內府の方が大きな日章旗をゆるやかに振つて、萬歲に答へていらつした。

參拜がすんで近くの楠公銅像の前に立つた、京都御所に最敬禮の姿と聞いた。立派な銅像だ。次に車を進め靖國神社に參拜す。十四萬五千八百三十三柱の御靈をお祀りする此の靖國神社はさすがにどつしりしてゐる御門の黑ずんだ褐色の大きな扉にさびのある金色の大きな菊の御紋が調和して神々しい櫻の名所と聞いた。澤山の人の中を分けて東洋一の大鳥居を再びくゞつて靖國神社を去り明治神宮に向ふ途中車中より各宮樣の御殿、美しい赤坂離宮を拜す。明治神宮に到り下車して長い砂利の道を堂々と步いて拜殿に向つた。明るい中に嚴かな靜いお宮の拜殿にぬかずき明治大帝の御偉德をしのび奉り皇軍の武運長久を祈る。續いて外苑にある聖德記念繪畫館に行き多くの聖畫を拜觀す。一つ一つ足を留めて拜觀し、時間の過ぎるのを知らず感慨無量のあまりバスに乘つてまで無言だつた。漢口陷落の市民熱狂的なる萬歲の聲、旗旗の行列の間をぬつて乃木邸を見學す。粗末な建物古い疊これが大將のお住居かと疑ふ程の御質素なお家。乃木大將のお住居よりも立派だと云はれる煉瓦造りの馬屋も見た。一頭の馬に、室が二つづゝあり、馬が二頭ゐたので四つあつた。〃あと一つ見學したら中食ですよ〃と元氣附けられ一意氣がんばつて泉岳寺に詣でた血染めの梅の木と石、首洗ひの井戸等を見てあの一瞬の出來事を思ひ出して淺野侯を氣の毒に思ふ念が一そう深くなつた。

四十七士の墓におまいりするどの墓にも線香の絕えた時はないと聞かされてゐたが、それは事實らしく澤山の線香から煙が立ちのぼつて、あたりには線香のやはらかいよいにほいが漲ぎつてゐる。此の近くでやつと中食になつた。〃あゝゝ〃と云つて足をバタンとのばして、御飯の運ばれるまでお話しするのもきつい位疲れてゐた。樂しい中食をすませ二十分の休けいの後又バスに乘つて震災記念堂に行く。悲さんな繪を見て身ぶるひがした。お堂を出た所に子供の記念像がある皆んな肩に手をかけ口を大きく開いて母を呼び助けを求めてゐるその像！出來るだけ大聲でお母さまを呼び、その聲はかすれ、泣く元氣もなくなつて一しよにになつた小さなお友達と手を取りあつて道の中につゝ立つてゐる有樣等が、頭の中をぐるぐる廻轉して胸がつぶれる思ひがした。淺草觀音を見學す。人と店との間を分けて御堂の前に立つ。淺草は人が多い。道も店の前も御堂の前も中も人が一ぱいだ。その人ごみの中で觀音樣を拜んで一日のコースを終へ夕食を樂しみにしながら宿に向つた。十時に全部宿に集合して電車に乘り陸軍病院に行く。

園長のあいさつが終つてスリツパをはきニノリウムのローカをスリツパを引きづつて病室に行つた 傷病兵はわざ／＼ふとんの上におきなほつていらつしやる〃お大事になさいませ〃〃はい有難う〃一人々々に心をこめて御慰問申した。何だか淋しいお室に思へて、大きな美しいお花を澤山持つて來ればお室が少しは華やかになるのにと、自由にならないのが大へん殘念だつた。大きな室、一室だけ慰問しただけで物足りなく思へた。陸軍病院の門を出て解散になる。さあこれからうれしいお買物!!

家庭

現在の給料では不足だと仰言るが
此所に三割の無駄がある
交際費が問題です

毎日の生活費と

今月給生活者の多數に向つて「あなたはどの位の月給があつたら、生活出來ますか？」と問ひました。いづれも現在の月給では滿足出來ません、せめてあと少し月給が餘計でないと駄目ですといふ答が多いだらうと思はれます、その具體的な數字をがつてゐると を氣づかないのか不思議でず生活に三割無駄があることです、それを省けば逆に一割二三分の餘裕ある生活が出來るわけではありませんか？その第一は食費です、サラリーマンはその生活費の三割、商店は三割五分から三割七分、農村では四割五分から五割使つてゐます、ところが私たちの生活では、好んで高い金で榮養價の低いものを求める傾向があるから不思議です、即ち兎より牛肉、サンマより鯛マンヂユウよりチヨコレートを好むなどがそれです

◇……然し榮養價よりいへばその反對なのです、しかし鯛よりも鰯方が榮養價が多く且遙かに廉いと思つてメザシを食へて見たさい、近所の人たちはあそこでは又メザシよと騒ぐでせう、さういふ無智な見榮のある婦人が多いために生活は改善されなのです、ドイツなどでは、　を奬勵してゐますが、もつと廉く蛋白質を攝るためには滿洲の豆を利用するに限ると盛んに輸入してゐるとのことです我國では味噌汁をのんでゐますからお魚類は一日に切身の一切か鰯の二尾もたべれば充分蛋白質の補ひがつきます、かういふ點に一寸氣付いて實行すれば隨分無駄が省けると思ひます

◇……次に生計調査によると月收百圓前後の家庭でも、八圓から十圓までくらゐ交際費に當てゝゐるやうですが、この負擔は決して輕いものとはいへません、なかには他を詰めて交際費を張る方もありませう。稀には借金してまでなさる方もあるかも知れません さういふ方がそれに滿足してゐるかといふに、決してさうではありません、交際費がかゝりすぎて困ると內々こぼしてをられるやうですが、それならば、かゝらない工夫をしたらよささうなものですが、とかく婦人は積極性を欠き情性に引ずられがちでそれを改めやうとはしません。

一體にわが國の交際はあまりに形式に流れてはゐないでせうか、贈物をするといつても近隣、朋友、親戚同士の間ならば、一種の友情の現はれとしてまことに美しいものでもあり、また貰つた方も嬉しく感ずるに違ひありません。ところが世間の實際を見ますと友情の現はれとして贈物をするといふよりもむしろ何か求むるところがあつてしてゐる方が多いやうに思はれます、かやうな不純な動機が多少でもはいつてをれば、それはもはや單なる贈物ではなく、やがては賄賂となる危險性を多分にもつてゐます。

盆とか暮とかに、百貨店などに積まれた贈答品がまたゝく間に賣れて行くところを見ると、決して友情のためばかりとは思はれません。賄賂とまでは行かずとも、多少不純な動機が含まれてゐるものが多くはないでせうか、これも大いに省いてよい無駄でせう、

地球の伸縮？
一日の長さに僅かな變化

昨年七月七十一歳の高齡で死去したエール大學のエルンスト・ウイリアム・ブラウン教授が提出した最初の假説がこのほど發表された、それによると一日の長さがこの百年の間に一秒の千分の一だけ長くなつたといふのである、勿論時計には何ら變化を起さないくらゐの僅かなものだが天文學者にとつては頗る重大問題だ、同教授はいふ「一日の長さは地球の自轉速力によつて左右される、そして自轉速力は陽の引力によつて影響されることは明かだ、すなはち潮の干滿を生じ地球表面の摩擦に變化を起すからである、しかしそれは一八九七年に起つた時間の變化即ち一秒もの變化を引起すほど強力なものではない、一方また以前に行はれてゐた極地における氷雪の堆積が自轉速力を變化さすといふ假說も正しいとはいへない」そして同教授は「ある種の星は自分で伸縮してゐるが地球もまた膨脹したり收縮したりするのではあるまいか、もしかりとすれば一日の長さの變化といふ現象は容易に說明されるであらう」と結んでゐる

絹と羊毛の混紡洋服地
ホームスパンやカシミヤに

最近凄じい勢で國策線上に浮び上つたもの丶一つに絹があります、ともすると値段の張る點で他人扱ひにされた絹が毛や木綿、麻などの統制で俄然頭をもたげたわけです

これが絹か……と一見不思議なくらゐ毛織物そつくりなのや、どこまでも絹の地合を生かしたものなどその進歩はすばらしい、特にセリシン定着法といふ新技法の成功は副產物、絹紡原料などの粗惡な原料をさまぐ\に利用出來るので絹織物界に一變革を來しました。

たとへば絹毛羽應用のホームスパンは羊毛と絹▲混紡の綾織で手觸りは少し荒いが純ホームスパンに少しも遜色はありまん、かつ値段が安いのが强味、六、七十圓のホームスパンならこれは四、五十圓で立派なもの

上品な純絹のモーニング

同じく羊毛代用としてはカシミヤとの混紡の洋服地があります、最高級品ともいふべきものですが純カシミヤの約半値です

絹サージもなかく\優秀で時節柄國防色が多く、値段は驚くほど安い、人絹、スフなど三割混紡ものでヤール一圓五十錢臺、羊毛との混紡なら少し張つてヤール九圓くらゐ絹の普通の服地でヤール二圓五十錢臺

次に氣の利いたものに絹のモーニング服地がある、少し薄いので嚴冬はどうかと思はれますが、保ちはよく艷も上品、さらりとして輕く恐らくどんな長い儀式に參列しても肩は凝らぬでせう、ヤール十圓前後ですから一着五、六十圓で揃ひます（日本中央蠶糸會）

結婚リンチ ⑲

けふの番組
ラヂオ　十三日 日曜日　新京放送局 M・T・O・Y

◇朝◇
七、〇〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
七、二〇ニユース
七、三〇（大連）朝の音樂 引續き講談社提供キングレコード
童謠（イ）進め軍艦旗 河村順子 （ロ）かぞへ歌をどり 鈴木安江
八、二〇氣象通報
九、三〇（奉天）子供の時間 ＝奉天東邊門滿洲中央銀行造幣廠より中繼＝

◇晝◇
ラヂオ訪問 おかねの出來るまで
一〇、〇〇（大阪）皇軍武運長久新願祭實況＝別格官幣社四條畷神社より中繼＝
一〇、四〇（東京）週間を顧みて「録音」
一一、〇〇、〇一輕音樂（レコード） 一、ロドリゲス・ペニヤ 二、歌ひつゝ 三、醉ひしれて 四、カプリの島
一一、五〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

東京無線

五、ラ・パロマ 六、フレリアス 七、小さな雄鷄 八、ラ・タブラータ 九、プロヴインシアーナ
一〇、三〇（東京）ニユース
一一、〇〇（東京）傷病將士慰問の午後 ＝長野縣上山田町字都宮陸軍病院上山田轉地療養所より中繼＝
落語 孝子傳 三遊亭金馬
浪花節 鋤生二蓋笠 東家小樂燕
漫才 金は政府へ、踊りはス・フで 林家染團治 小川雅子
俗曲 一、縁かいな 二、磯節 三、立山くづし 四、鴨綠江節 五、都々逸 唄 小花 三味線 小友
講談 五貫裁き 神田伯龍

◇夜◇
四、〇〇（東・新）ニユース 氣象通報・ニユース
六、〇〇子供の時間 日滿支親善交驩放送（東京）
一、ごあいさつ 滿洲と支那のお友達へ
二、童謠 日本兒童代表（男女二名） 金の鈴こども會 伴奏 東京放送管絃樂團 （イ）愛國行進曲 （ロ）日本子供の歌
（新京）一、挨拶 新京大和通國民優級學校優級二年女生 林素珍
二、獨唱 古畑利衛 ピアノ伴奏 指揮 松元靜江 （イ）美しい滿洲國 林素珍 （ロ）蒙古民謠「鼠と蛙」 美倫台
胡弓伴奏 都爾布 寶尚阿 林素珍
三、協和行進曲
（北京）一、紹介 アナウンサー
二、節奏樂 快樂の歌 匯文奏樂隊
三、談話 我們要携起手來（私達は手を握りませう） 蔣顯孝 徐素貞
四、日語通譯 獨唱 小學生的生活 許世貴
五、挨拶 全體
六、二五音樂鑑賞（レコード）ピアノ奏鳴曲作品百十一番イ長調 ベートーヴエン作曲 ウイルヘルム・ケンプ
七、〇〇（東京）ニユース ニユース・告知事項・今晩の番組
七、三〇（奉天）新滿洲歌曲 獨唱 宋愛連 伴奏 白聲管絃社 一、感友邦 二、空谷蘭 三、催眠曲 四、春朝曲 五、滿園春色 六、夜來香
七、五〇（東京）文化演藝 紙（南部圭之助・作 恭輔・作曲） 紙 岸井明
合唱 コロムビア・リズム・シスターズ 外 江戸川蘭子 伴奏 東京放送管絃樂團
八、一五（東京）掛合義太夫 一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段 日本因會女子部 竹本綾助 竹本清絲 外
八、五〇琵琶 廣瀨中佐 旭泉
九、一五皇軍戰歿勇士御遺骨御通夜式實況 ＝新京記念公會堂より中繼＝ アナウンサー 上森重治
九、三九（東京）時報・ニユース・氣象通報・ニユース 告知事項・明日の番組
一〇、三〇ニユース再放送
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間

ふるさとだより

一村擧つて滿洲へ
雄々しくも「滿蒙樂土開拓」を目指して一村百戸が大擧して大陸に進出し、こゝに京都村を建設しようとする京都府最初の移民分村計畫が愈々決定しその素地開拓のために近日中十三名の若武者達が先遣部隊として出發することゝなつた

この雄々しくも朗かな話題の村は府下天田郡細見村で同村は郡內でも唯一の裕福村で特に壯丁の成績は非常に良好、多數の勇士を出し目下聖戰に參加して華々しい活躍を續けてゐる（京都發）

生活樣式統一運動
「縣民みんな戰士」の旗幟を揭げて石川縣では各市町村の町會または部落常會毎に「生活刷新班」を設け各地方の實情に即應した生活樣式を統一し冠婚葬祭の改善、生活の質素化衣服の改良、勤勞奉仕、體位向上愛國貯金の奬勵などを具體化し擧縣一致長期建設に邁進することゝなつた（金澤發）

樂燒で傷病兵慰問
京都伏見深草の國立陶磁器試驗所では四日第二部長小川技師以下二十名の職員が素燒の茶碗灰皿など一千個と鹽三個を携へて京都陸軍病院を訪問樂燒慰問といふ風變りな慰問を行つたが勇士達は筆を手に、燒きあげられて行く自分の趣味に大喜びであつた（京都發）

富山の藥を支那へ
越中賣藥の大陸進出は隣邦滿洲國および蒙疆地方に市場を獲得近く天津を根じろとして北支方面へ飛躍的發展を計畫されてゐる折から、今度は上海南京など中支那方面へも賣藥行商隊を繰出し宣撫工作用にも配給することになつたが年取引一千萬圓の見込みである（富山發）

觀賞したあと
菊のお料理いろく\ 三

花を食するには茹で晒すところにコツがあるので、お藥々茹でるのと違つて相當多量の湯で茹で、二、三度水を取換へて晒します

厚物の中菊で黃色の食用菊といふのが別にありますがかうして晒せば花瓣の厚い大菊、または絲菊なら何でもよく、ほろ苦味は消あとに適度の香りと味るのです

一ばんよく食べられるのは三杯酢、　りと輕い齒ざはりが、　いゝものです、また出し汁でうつすらと含め煮にしてよく、わさび醬油でいたゞくのも結構です、大根との膾やお浸し物も風流です、そのほかお刺身や煮合せのあしらひなど然るべく添へてゆけば晩秋にふさはしくお料理が引立ちます

葉は大菊の肉の厚い葉が食べよけがあつてよく天ぷらやあしらひにいゝものです、天ぷらはメリケン粉一合に卵一個と水、少量のお酒を加へて衣をつくり、葉の片面につけて揚げます、衣の粉はあまり練混ぜずあつさりと溶き、油の溫度は少し低目の方が色が冴えます、料理のあしらひにするには油でざつと炒めて後湯を通し油拔きをして用ひます小菊の菊茶は鹽一、水二の割で煮立て、さました鹽水に茹でた花を漬けておきお茶に浮かせていたゞきます

健康相談
鼻出血が癒らぬ

（問）私は今年二十一才の青年です、身體が健康で食慾も旺盛ですが、昨年十月頃から今日迄毎月必ず七八回の鼻出血に惱まされます。鼻出血の際は眩暈も起し執務中なれば仕事が出來なくなりまして大變困つております。何日も漢醫の治療を受けますがなかく\癒りません。甚だ恐れ入りますが何か良い治療方法はありませんでせうか是非御敎へ下さい（滿人一青年）

（答）鼻出血と申しましても、色々の原因で來るものでありますが、尤も吾々が屢々遭遇する場合は鼻中隔前下部（之をキーゼルバツハ氏部と申します）の小血管が破れて出血を來たものであります。殊に乾性前鼻炎とか潰瘍が出來た場合よく來るものであります。その外外傷性鼻出血（鼻內手術後に來たる）代償性鼻出血、（婦人にて月經が全くなきか少量なる時は代償的に鼻出血を來たす等）急性傳染病（チブス、猩紅熱、天然痘ワイル氏病等）貧血、血友病、ヴイタミンCの缺乏、腎臟病、動脈硬化症、鼻腔の腫瘍・往々腦溢血の來る前に鼻出血を前驅とする事があります、その外數へあげると、色々の病氣の一部分症として鼻出血を來たすのであります。從つて御質問の貴下の御病氣が如何なる原因に依るかをこの際より確かめた上、最も適切な治療を行はねばなりません。御文面に依りますと昨年の十月頃から度々鼻出血を繰返す事から考へますと、或は鼻咽腔に潰瘍を有する鼻茸等も想像されますし、或は鼻腔內纖維腫、出血性血管腫等も想像されます。何れにしても之等は次第に貧血に陷り引いては他の餘病を併發する恐れがありますので、家庭療法は斷然止めて早く專門醫にかゝり適切な治療を受けられん事を御すゝめいたします。（回答者新京特別市立醫院耳鼻科々長醫學博士岩田龍生）

死亡

▽西七馬路八號地吉丸館方門屋百合（三二）九月二十六日
▽高砂町五丁目四番地甲斐敏子（一八）（十月八日）
▽入船町三丁目二十一番地龜岡榮子（六）十月八日
▽日本橋通五五番地平田ハナヨ（四一）十月十二日
▽吉野町二丁目十八番地ノ四上野さと子（二）十月十一日
▽富士町三丁目三番地藤井正子（二）十月十一日
▽永樂町四丁目三田邊幾子（二〇）十月十四日
▽三笠町一丁目二四ノ四三上滿雄（一八）十月十三日
▽崇智路一〇四永谷俊夫（二）十月十三日
▽白菊町四丁目一白菊會館內小高吉三郎（五六）十月十四日

キング（十二月號）

◇昭和十三年の掉尾を飾る十二月號にこの雜誌の生みの親である講談社野間社長の追悼錄を揭げねばならなくなつたキング編輯同人諸君に滿腔の同情を感ずる、ことに野間氏はキングのみならず所謂講談社九大雜誌の生みの親でありまた日本の雜誌界に今日の隆昌を來さしめた生みの親でもあるのだから損失といへばこれほど大なる損失はなくこの追悼錄も蓋し我が國雜誌出版界文化事業界の聲と見ることも出來る

◇しかしキングは次號新年號より更に一段の飛躍を試みる由ことに故野間社長のためにはこれこそ最善の供養となるであらう、その豫告ともいふべき十二月號がその意味ではハツキリ方を示してゐるのは非常に心强さを感じさせる

◇例の挾込特別附錄には文學博士小柳司氣太氏の譯で「孫子」が提供されてゐる、特別讀物の三篇「渡邊四角兵衞」藤島一虎「沖龍介」野澤純一「ゆきずり仁義」久我荘太郎と共に評判になる好一對であらう

◇毎號のサービス「讀切十傑作選」も掉尾號らしい活氣を見せ、原嚴、目黑麥男、海老原網人、山本周五郎などの新進が傑作の放列を布いてゐるのが壯觀だ

講談倶樂部（十二月號）

◇昭和十三年も掉尾號の講談倶樂部これには講談社々長野間清治氏の弔文を載せてゐるが、同氏は講談社々員として有名であつたといふ以外講談倶樂部はその窮迫時代に創刊したものだけに一層因緣深きを覺ゆるであらう、こゝにも滿腔の弔意を捧げておく

◇次號新年號を前にして新連載「風雲將棋谷」角田喜久雄を發表してゐるのが目につく大衆作として條件のすべてを具へた名作、次號を樂しませてくれる逸品である

◇新年號には何れも新しい連載物も多く登場することであらうが十二月號の讀切物の佳篇も仲々見逃せない傑作が揃つてゐる「逸見虎喜智」子母澤寬「一段上の奴」佐々木邦「大野九郎兵衞の娘」本田美禪「惡魔館案內記」渡邊啓助「仇討羽織供養」目黑麥男などがその中の主なものだ

◇新年號に於ける本誌の活躍は刮目に價さるが毎年十二月號の充實もその前哨戰を華やかにさる意味で大いに物を云つてゐる今年も、その點ではまづ第一に感心してよい出來といへるであらう

學藝

カツトは吉林寫眞展相處作「群集」

春風（㈩）

張天翼作　大藤巍譯

彼は桃の木の下に暫く立つてゐた。それから路を通り室に這入つて行つた。『新聞報』が送つて來てからまだ十分とは經つてゐなかつた。それがもう佟老師により持ち去られてゐた。

「俺は前に何を考へてゐたのだつたかな?ちやうど……」

歎をおとし彼は此の土地の新聞を取り上げたがまたそれを下に落し、それから用心深く立ち上つた、恰も何か彼の胸に突つかかつて來るものを怕れてゐるやうであつた。恰も脚もゆつくりと踏んだ、恰も此處から佟老師の所の門口までは何歩あるかを數へてゐるかの如くであつた。

しかしやがて又彼は躊躇しだした。

彼はこそこそと校長室で言つてゐるのを聞いた。

「先刻金老師が君に何か話さなかつたかね?」

「いゝえ」——それは直ぐ任家鴻の嗄れた聲だと判つた。

「それならいい、僕は君に言ふが、これから金老師と話をする時には用心をしなくちやいかんよ、あの人は病氣なんだ。これから……あゝ、君はあの人が何病氣なのか知つてゐるかね?」

暫く沈默。

「うゝん、君あの人の窪んだ眼を見れば判るんだ、あの窪んだ眼をね…判るかね?あれはあの人にその病氣があるからなんだ、あれは、あれは…

……ううん、どうにもならん病氣だ——人に言はれぬ病氣だ、あの人はあんまり出たらめだつたんだ、出たらめをやるとあゝなる…判つたかね」

それから又任家鴻の父親の事を話し出した、それには佟老師の笑ひ聲が混つた。

邱老師の胸はそこでぎゆうつと詰まつた、何かを落したやうな氣持だつた。彼は唇を嚙み肚の中で叫んだ。

「ううん、任家鴻はこの市儈の言ふことを信じ切つて居る この、この……ううん……」

その市儈に自分の顔色を見せてやらうとでもするやうに口をきつとつぐんで晩飯を濟ますと二階へ上つて行つた。

彼は彼等の一生にはうだつが上りはしないことを知つてゐた、全く變なことに、彼等はそのやうな辛い生活に甘んじてゐるのである、口喧嘩をする、小ルンペンを罵る、麻雀をやる!

「うゝん、みんな馬鹿な豚どもだ、みんな馬鹿な豚だ!」

書架の上の時計はカチ／＼と音を立てゝゐた、それは殊更らに彼を煩さがらせやうとするかの如くであつた。その響はそんなにも不愉快だつた變化が無かつた、彼等の時間を一歩一歩と定つた軌道の上を押し寄るのだつた。

今は八時五分である。

佟老師の部屋では又麻雀の音がしはじめた。丁老師は誰かが呼びに來たら直ぐにも走り出して熱心に叫んだことであらう。

「は、至極結構、雙手をあげて賛成だ、脚を擧げて賛成してもいゝ!麻雀つてものを馬鹿にしてはいかん、一回打てば一回太陽燈に當る位のことはある」

ただ翌日になると邱老師に自分は二元負けたと言はねばならんのだつた。彼はもともと麻雀は好きでなかつた、しかし彼は他人の興を殺ぐことを好まなかつた。

全くの俗物だ、それは彼の鼻を見れば判つた!

金老師は彼等と一緒にはならなかつたが、やつて來て仲にはさまることはあつた。一圈もやらずに彼はうんうん言ひ出すのだつた、彼は他の者が彼を持ち上げることを知つてゐた、聯合して彼を排斥するのである!だが彼は怕れなかつた!こんな風で彼はまだそこに腰を卸し牌をいぢつてゐた!

その他の者はその二人の女教師につき合つてゐた。この二人はいつも組になつてゐた、一人は卓に向ひ一人は見てゐた、牌をめくりいいのであると尖つた聲で叫び出す、何でもない時は鼻聲でうたつてゐる、脚では拍子を取つてゐる丁老師が物を言ふのを聞くと早速腰をひねつて大笑ひする恰もこれは彼女らの義務といつたものである。

二階には邱老師が一人じつとだまつてゐる。彼は本を讀まうとも考へない、答案を調べやうともしない、一本の煙草を持ち、右手は額にあててゐる——どうもそこが熱いやうだと思つてゐる。

「こんな生活は全く人を殺しちまふ!……俺は何とか生活を變へなくちやならん、ぜひともだ!こゝにゐては自分までが俗になつてしまふ、ううん、全く俗悪だ!」

自分の前途に對して—それは充分に研究しなくてはならん、彼は煙草を抜き、右手は頭の方にやり、それから又色々と考へ廻した。少し熱があると思つた。

彼はベツドに倒れた、その十燭光の電燈を暫く眺めてゐた。そして又溜息をつき、自分の胸をさすり、眉に皺をよせた。

「ううん、畜生奴!……また一日過ぎた、明日も亦この通りだらう、やつぱり小ルンペンを退校にしたりするのだ、同じことだ、……あつ、いつまでたつても斯うだ!……」（完）

ザツケ手帖

のんきな世界

―原奎一郎「嗜好」（『中央公論』十月號）―

まづ最初に近頃の小説にダンサーがよく出て來るが藝者はあまり出て來なくなつたといふ事實についての作者の感想が述べてある。これはどうやら戯作者氣質の現はれとも取れるが、作者の大人びた風格をも示してゐるやうで憎氣は持てない。

さてこの小説には藝者が出て來る。富裕な商家の息子が相手とした藝妓である。やがて息子は勘當されて、その藝妓を妻とし滿洲に行つて働いてゐたのだが數年振りに東京に歸つて來る。

嗜好といつたゆつたりしたものとしてさうした人間風景を眺めてゐるわけである。のんきな世界といへばのんきな世界である。だがこのやうな明るい小説もあつていいだらう。この作者が義父の傳記ばかりを書いてゐず大いに文學の方にも勢めんことを望むのである。（御垣衛士）

吉林懸賞寫眞

―「新京の部」選後感―

伊達良雄

從來、懸賞寫眞には題材、寫眞材料その他を制限したものが多く、殊に未發表ものたる事が必須條件とつてゐた。その點、この懸賞は何んらの條件も附さず、全く稀に見る自由な催しとして、かなりの期待をかけてゐたが、さて應募された作品を見ると、ある水準に達したものは多數にあつたが、特に優れたものゝ少なかつたのは、甚だ遺憾であつた。

全體として、見方はかなり面白く、良き題材を捉へて居り乍ら、表現に夫々不備な點があつて、今一歩と云ふ感があつた。殊にモデルを使用したものは、技術も拙く月並なものばかりで、寫眞雜誌の口繪にあるものゝ追從で、而も未だかなりの距離を感ずるものばかりであつた。

推薦「群集」は、光に對する感覺もしつかりと把握され而も多の街頭に夕陽を浴びて路を急ぐ、群集のざはめきが畫面にひしひしと迫つて來る樣だ。畫面的には群集の路面への影が非常に効果を擧げてゐる。

特選「初多の朝」は、窓硝子を透して窓外の風景を扱ひそれに依つて初多の感じを表現せんとしたものであるが、見方も面白く如何にもうすら寒い初多の感じが、硝子の水滴に依つて、巧みに表現されてゐる。唯慾を云へば、窓枠のクロスした十字型に一考を煩はしたい。同「無題」は、一疋の牛を大膽な構圖に依つて、あのむしろ鈍重な感を與へる牛の性格が、畫面に力強く描出されてゐる。兎角、動物のクローズアツプはグロテスクになり勝ちであるが、この作品にはそれがなく、むしろ親し味をさへ覺えしむる印畫の部分減力が、調子に破綻を來してゐるのが惜しい。

準特選「銀波を蹴つて」は題名に示されてゐる樣な感じが、カメラのバイブレーシヨンに依つて、極めて効果的に表現され、波、しぶき、そこに當つた光が快い躍動感を醸出してゐる。惜しい事には、畫面上半部の調子の平調さがその感じをかなり弱めてゐる。同「渡し場」は光の狀態も面白く、水面と船、そして船上の人物の關係なども、より良き瞬間が捉へられてゐるが、向つて左下の河岸の石の描寫が、それらと巧くマツチせず畫面に安定感を缺いてゐるのは遺憾。同「夏の午后」は、街頭スケツチとして、大膽な覗ひ方が面白い。唯畫面的には約四分の一左を切取つた方が、一層、この感じが强くなるであらう。

＝十二、十三兩日寫眞展、乾寫眞機店開催＝

空しき詩

萩田郷童

俺達の仲間が今日死んだ!
―ケーシヤは淋しく友の十字架を
空ろな瞳で眺めながら叫んだ……
白系露人——そうだ　白系露人なんだよ!
ケーシヤー
誰だ!俺達の親を刺し兄を無慘に殪つたのは!
だが!何故君はそんなにウオツカを嫛るのだ!
シーリ叔父さん
今日、輝く五色旗の日記の中に
叔父さんの恐ろしい靈魂が秘められてある
そして今僕の日記に記された文字は
祖國エミグランドの建設——と……

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△實業之滿洲（十一月號）財界諸問題の檢討、非常時に於ける消費組合の存在意義その他、附錄として滿鐵關係會社一覽を載せてゐる（大連、實業之滿洲社、五十錢）

△大陸研究（十月號）「北支經濟の建設と特殊會社の使命」大志摩孫四郎「大陸と鐵道」大村卓一「事變下の支那貿易」橋本孝一、その他大陸情報（東京神田區旭町、大陸研究社、四十錢）

家庭医學

結核療養に

多食榮養療法の提唱

サナトリアム療法の始祖が主唱した急速の體重増加の方法

結核の治療法には、種々な方法がありますが、それ等の中で最も確實なのは、サナトリアム療養中の食餌療法であります。これはサナトリアム療法の始祖ブレーメル及びデットワイレル兩氏が主唱した

學界を驚かした

療法で、今日の結核患者の食餌療法の基礎となつてゐるものです。

この療法は、多食肥胖させて、衰弱してゐる體力を恢復、充實させ、抗病力を强めて病氣を征服しようとする方法で、結核は自然治癒力によつて癒す――といふ今日の學説に於ては、この方法が最も根本的な、確實な療法だと言はねばなりません。

今日臨床家の間で行はれてゐる方法は、三時間毎に一日六回（午前六時、九時、正午、午後三時、六時、九時頃）與へますその献立も、例へば體重五〇キロのものは朝六時に牛乳二百グラム、九時にご飯三碗、鷄卵一ケ、野菜、肝油五―一〇グラム正午に肉類百グラム、野菜、米飯三碗、鷄卵一ケ、肝油五グラム、三時に牛乳二百グラム、パン一切（或はコーヒーにお菓子）六時は大體晝食と同じ、九時は午後三時と同程度と言つた献立で、一日の總カロリー約三千カロリー以上を攝るやうにします斯うした

食餌療法を實行

し安靜にしてゐると、一週間に二三百匁、一ケ月に五百匁から七八百匁の體重増加は容易で

す。斯様に肥つて、體力が充實して來れば執拗な微熱も下り、その他の惡症狀も解消して、全快の日に近づいて行くのであります。

たゞ、結核患者は兎角に胃腸が弱いので、かうした方が無茶にこの多食療法を實行しようものなら忽ちにして胃腸を壞し、病狀を惡化させてしまふことにもなりますから、斷る方は胃腸と相談しながら、永續できるやうにこの方法を實行すべきです、それには胃腸を强化することゝ、胃腸機能の整調に注意してゐることであります。

若素（わかもと）は活性ヘーフェ菌、アスペルギルス菌を主體として居り、これ等の主菌は、衰弱した胃腸機能に賦活作用を與へるので、本劑を服用すると、胃腸の具合は非常に良くなり、食欲は旺盛になりますので、前述の多食療法も容易に實行できると言ふことになります。また

ビタミンB・D

や豐富な良質の蛋白質、グリコーゲン、カルシウム、レチシン、ホルモン性物質等の重要榮養素も含有してをりますので、榮養を促進するとは非常なものであります。

この胃腸機能促進、榮養增進の兩作用を持つ若素（わかもと）こそ、結核患者殊に多食療法を實行せんとする方には、缺かしてならぬ常備藥と言はねばなりません。

秋口に多い

肋膜炎の療法

肋膜炎患者は秋口に可なり多くなります。これは酷暑時の、登山海水浴等と體力に無理をしたか、或は休み中の不攝生等が原因して發病し、或はその無理が祟つて、秋口になつて發病する人が多いからであります。

〜肺病〜　は恐ろしい病氣、肋膜炎はさほどでもないと考へてゐる人が、今でも相當に多いのでありますが、肋膜炎はその實結核の前驅症とも言ふべきで、或る專門家の如きは、肋膜炎の殆ど全部は結核性であると言つてゐる程であり、それ程でないにしても、肋膜炎患者の三分の一は、既に一定の結核性病變を有し、肋膜炎を全治しても、二年から四年位の間に、結核になる人が多いと言ふ統計を大阪醫大では發表してをります。

肋膜炎の

〜療法〜　としては、乾性であれ濕性であれ、殆んど同様で、肺結核の療法とほとんど同様で、對症療法に就ては多少の相違はありますが、主要療法は共通して居ります。それは安靜、新鮮な空氣、榮養、局部の保温であります。發病初期には、絶對安靜を愼重に守れば、快復を早め、窓を開け放した室内に、肺結核、腹膜炎の發病を防ぐことも出來ます。

更に榮養に注意することは勿論で、常に胃腸に注意しながら、多食榮養療法を行ふべきでありま す。胃腸の弱い方は、早くその强化法を講ずることは勿論です。

若素（わかもと）は、肋膜炎患者に缺かしてはならぬ常備藥で、本劑の服用によつて、高熱或は

〜微熱〜　の爲めに弱つてゐる胃腸機能を振起し、衰へてゐる細胞にも、賦活作用を與へる結果、肋膜炎の經過を極めて順調ならしめるのです。これは本劑中のヘーフェ菌が、細胞賦活作用に、强力に働くからであり、更に蛋白質、多種の酵素、ビタミン、アミノ酸等の榮養

療養實話

再度の肺尖カタルを療養して

（山口縣柳井町）内村精三

私事昨年八月中旬頃、少し無理して仕事した爲か身體はだるく食慾は進まない様になりましたので内科の博士の診察を受けた處、意外にも肺尖カタルとの事で大いに驚きました

その時ふと、以前食慾増進に「錠劑わかもと」を服用して非常に好結果を得たことがあつたのを思ひ出し、早速附近藥店にて買ひ求め服用しました。處が服用する中に嬉しい事には

食慾が進み出し三十八度位あつた熱が平熱となり、目にみえて身體が肥り出しました。處がこれに安心して少し無理したのが悪かつたのか、再び病臥する身となつてしまひました。今度は初めから「錠劑わかもと」を信頼して九ケ月以内には全快してみせる自信にて服用しましたが、今度は再發の爲か期待した程早くなく遂に九ケ月餘りを病床に過さねばなりませんでした。しかしその後よくなり約一ケ月保養した爲にいよ〳〵元氣になり、本月中旬頃より出勤してをります。今の處は別に異状なく今度は大丈夫だと思つてをります。

この若素（わかもと）は榮養を急進し、リパーゼ、グリコーゲン等の喰菌酵素等の綜合作用もあるので、肋膜炎の經過を極めて順調に、療養期間を短縮することになるのであります。

この若素（わかもと）は東京市芝公園大門、わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五、六錢（小兒には二、三錢）の廉價で發賣されてゐます尚、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次ぎ販賣して居ります

キャプテン・粗六　田河水泡

朝鮮海峽トンネル 陸地調査はパス

海底地質調査の結果如何で 世界の大工事實現へ

【東京國通】滿洲國の發展と今次事變によつてわが日本と大陸との關係はいよ〳〵密接不離なものとなり、これに伴つて日本と大陸との交通は今や日を逐うて飛躍的膨脹を來しつゝあり、このまゝ放置するときは將來交通麗輸上一大混亂に逢着するおそれが多分にあるといふので、鐵道省ではこれに對應すべき適當な輸送方法について愼重研究を續けてゐたが、その一方法としてかねて問題となつてゐた朝鮮海峽の海底トンネル案が採りあげられ去る八月以來建設局技師渡邊貫博士、廣田孝一の兩氏によつて二回にわたる現地の地質調査が行はれ、その結果が十日開かれた定例局長會議で中島鐵相に正式報告された、この調査によると陸地に關する限り充分の可能性が認められたので國鐵では幾る海底地質の調査に向つて着々研究の歩を進めることゝなり、彈性波による人工地震調査方法等が準備される段取りとなつてゐるが、この海底地質調査の結果いよ〳〵工事に着手することが可能となれば工事の規模の宏大さにおいては關門トンネルは勿論、世界に比べるものゝない巨大なものが出現するわけであり國鐵のトンネル工事技術をもつてすればこの有史以來の大工事の實現の可能性は百パーセントと見られてゐる

トンネル案のルートは起點を內地に、玄海灘の海底をくゞり對岸朝鮮に到るもので、この海底距離は百廿キロ、列車は海底下六十米の地底を走らせ、ゲージは大陸との連絡上勿論廣軌を敷設、この費用は單線として約十億圓、工事年限は相當長年を必要とするが、實現の曉には現在關釜間七時間半を要してゐた連絡は特急の列車で僅々二時間に短縮されるのみか日本と大陸とは陸續きも同樣となり、東亞の產業、交通、文化等に及ぼす影響は測り知れぬものがあらう

「皇軍御遺骨お通夜」

今夜九時廿分 市代表・燒香に 全市民默禱を

既報の通り今十三日、北滿討匪の華と散つた皇軍將士の御遺骨六十七體は午後三時十分着列車でハルビン方面より、同十四體は午後七時三十分着列車で吉林方面より到着、在京軍官民はこれを迎へ、驛より中央通りを經て吉野町に入り公會堂に奉安、午後九時からお通夜を行ふが、九時二十分を期し市代表が靈前に燒香を行ふことに決定したから同時刻に全市民は擧つて一分間の默禱を捧げられたい

尙御遺骨は豫定の通り翌十四日午前十時公會堂を出で日本橋通りを經て驛に到り同十時三十分發列車で南へ奉送することゝなつてゐるから市民は繰合せ迎送を行ひ、かならず弔旗を掲げられたいと

谷本司令官 海友會へ寄附

帝國海軍練習艦隊將士來京に際して新京海友會々長岩坂叁三郎氏始め會員は歡迎に努力パス數台にて國都の案內に任じ南嶺の戰跡では岩坂會長が戰闘概要を說明、多大の感銘を與へたが谷本司令官は離京に際し海友會へ謝意として金五十圓を寄附、同會ではこれを基金に繰入れた

ワグネル獨公使 張總理、磯谷參謀長訪問

獨逸國全權公使ワグネル博士は十二日午前十一時皇帝陛下に信任狀を捧呈、續いて在京記者團と會見ステートメントを發表したが、午後二時國務院に張總理を正式訪問し着任の挨拶を述べ更に軍司令部に磯谷參謀長を正式訪問、同樣挨拶を交した、右に對し張總理、磯谷參謀長はそれ〴〵ヤマトホテルに公使を訪問、答禮をなしワ公使は午後七時張總理官邸の招宴に臨んだ、なほワ公使は十四日に蔡外務局長官、星野總務長官、高須駐滿海軍部司令官をそれ〴〵訪問着任の挨拶する豫定である

【寫眞は張總理とワグネル公使の乾杯】

京商吹奏樂團の研究發表會

その內容に於て統制に於て國都第一を誇る京商吹奏樂團の第三回研究發表會は十三日午後七時から新京西廣場倶樂部において開催されるがプログラムは吹奏樂、合唱、マンドリン合奏等いづれも名曲揃ひであり特にメゾソプラノ泉夫人、童謠泉百合子孃、ピアノ伴奏齋藤弘、萩原英雅の諸氏が贊助出演して錦上華を添へることになつた、なほ同校同窓生多數の來聽を希望してゐる、プログラム左の如し

▲第一部（一）開會の辭（五年赤澤正義）（二）校歌齊唱（ブラスバンド伴奏）（三）吹奏樂1行進曲双頭鷲2和曲ラスパトレー拔萃曲アンベルコーラス、4圓舞曲飛行船の上にて（休憩）

▲第二部（四）志崎校長挨拶（五）京商應援歌齊唱（ブラスバンド伴奏）武道部歌、遡風肉朔、遠征行進曲（六）マンドリン合奏1キアオ圓舞曲、2レッド・ウイング・マーチ（七）童謠オダンゴコロガシ、キツネの傘（八）獨唱波浮の港、宵待草（九）吹奏樂序曲天色の恩惠、歌劇拔萃曲ホフマンの船歌、和曲六段の調、行進曲軍艦マーチ（休憩）

▲第三部（十）獨唱うぐひす哀別、ラスパニヨラ（十一）吹奏樂圓舞曲ダニューブ河の漣、序曲輕騎兵、幻想曲愛のバラ花、接續曲ロシアメロデー（十二）閉會の辭（五年井手登一）

全新京軍敗る

54—40 對北支軍籃球戰

中華民國新民會派遣の北支籃球軍の第二戰である全新京との試合は十二日午後三時より敷島高女コートに於て日下部山中兩氏審判の下に擧行、試合は稀に見る接戰が展開され結局五十四對四十のスコアをもつて遠來の中華軍に凱歌があつた、尙競技に先立ち兩軍選手入場し闕屋副市長の挨拶があつた

北支軍 54 ｛30—18／24—22｝ 40 全新京

△前半＝北支軍の立上りよく開始直ちに王有才の三野投を初として楊培之の一野投と一自由投に離したが、全新京は張元智、郭銘勳、任錫昌の野投成つて九對八と追つた、その後の北支軍は調子づいてよく球をゴール下に運び王有才、王江文の確實なシュートに得點したのに對し全新京軍は北支軍ガードの好防に進路を阻まれてゴール下に近寄れず僅かに三野投、三自由投の九點を擧げたのみ廿四對廿二で北支軍リードのまゝ終つた

△後半＝北支軍は王有才、王江文を攻撃の主力とし、それに猛烈なスピードを發揮して全新京の陣形を亂して翻弄し殊に王江文の美技は十分までに連續五野投、郭金銘、尹煥文の三自由投に十三點を收め、全新京軍は三野投を應酬したのみ、十分後の北支軍はますます好調で攻撃鋭く王有才、王江文、傅金鑿が續け樣に正確なるシュートに得點し全新京軍は球を得てもゴール下に依然として寄れず國家驥王史德、郭銘勳、宋振麟による五野投だけであつた

反則	得點	（北支軍）			（新京）	得點	反則
1	23	王有才	F	F	國家驥	6	0
0	3	楊培之			宋振麟	8	1
1	19	王江文			張元智	4	1
					王史德	6	2
1	2	郭金銘	C	C	郭銘勳	7	0
3	6	傅金鑿	G	G	任錫昌	7	1
1	1	尹煥文			王保怒	2	0
7	54	24 F	G	18		40	5
		6 F	T	4			

全新京籃球軍哈市へ

全新京籃球チームは奉天遠征を變更し十三日午前八時十五分新京驛發列車で哈爾濱へ赴くことになつた、一行のメンバー左の通り

監督＝黑澤昌鋼、マネーヂャー＝石田拓之、選手＝主將任錫昌、白春盲、張元智、國家驥、郭銘勳、王保怒、宗拓麟、姚炳坤、景作新、

張占魁 第二國民籃球軍 中商軍に勝つ

中央商業對第二國民籃球試合は十二日午後二時より敷島高女コートに於て岡崎、吉浦兩氏審判の下に擧行、廿四對十三で第二國民勝つ

第二國民 24 ｛10—11／14—2｝ 13 中央商業

力走、寒氣を衝いて 耐寒十哩競走 方景河君第一着

本年度陸上競技の掉尾を飾る耐寒短縮十哩競走は十二日午後擧行された、大陸の嚴寒を克服して堂々實力を爭ふ鐵脚十八選士は定刻より稍遲れ午後一時十分兒玉公園陸上競技場前をスタート一團となつて雪の舖道をまつしぐらに南嶺に向つた、昨年の覇者方景河君は矢張り斷然強い、市街を外れる頃は既にトップを切つた

續いて吉鳳仁君（滿鮮日報）が金東洹君（新京工學院）が續く、新京普通學校の林恭變少年大人の選手に交つて負けじと必死の力走を續ける、かくて方君トップを切つたまゝ南嶺を拔け興安大路を眞直ぐにラストヘビー物凄く兒玉公園の決勝點にゴール

春の記錄は破れなかつたが五十三分三秒といふ好記錄を擧げた、着位記錄は左の如し

1方景河（新京專賣署）五十三分三秒、2金仁煥（工學院）五十六分十九秒、3朴景錫（工學院）五十六分四十秒、4金東洹（工學院）五十七分三十秒、5吉鳳仁（滿鮮日報）五十七分四十五秒、6王作智（第一國高）、7林恭變（新京普校）、8崔德高（文化國高）、9黃世仁（需品局）、10崔上松（同）

待ちきれない小スケーター

急ピッチをあげた氣溫低下に第二回の降雪に見舞はれた國都では十二日早くもスケーターが未だか〳〵シーズン到來とばかりとび出したが不完全な結氷ではウインタースポーツの花形もペソをかきたゞシーズンを迎へる足ならしにすぎなかつた

お台所に歡聲 〝米〟一割方値下り

今年一杯は繼續豫想

小麥高、家賃高、物價高と臺所を脅威する惡材料山積の折柄、これはまた生活必需品の大宗ともいふべきお米の値下りが各家庭の主婦達を喜ばせてゐる朗報—

十二日の新京市內における白米小賣相場は一俵特等米九圓五十錢、同一等米九圓卅錢で二、三日前の一等米九圓十錢に比べ廿錢方上廻りはしてゐるものゝそれでも一ヶ月ほど前の一等米十一圓二十錢に比べると二圓方、約二割もの暴落を示しパンも喰へない？といふ小麥高と凡そ對蹠的な傾向を見せてゐる

値下りの原因は今年の水稻收穫が頗る良好であるのと、最近新京附近の搬出廻りが非常に活潑になつて來たゝめであるが、從來小賣物價指數において斷然他を壓してゐた米穀値段（即ち康德元年を一〇〇とする指數は昨年八月一二二を示し更に今年八月は一躍一七一と云ふ奔騰振りを示すに至り市民の生活を脅威してゐた）が現在値をもつてすれば指數一六〇以下になるわけで一般の物價高傾向に對してこの主要食品の値下りは臺所にとつて旱天に慈雨とも云ふべき朗報に違ひない、業者側では出廻りさへ順調なれば今年中この程度の相場が繼續されようと語つてゐるが何れにしても非常時下に有難い豐年ではある

滿鐵社員にロシア語講習

滿鐵では來るべき重大非常時局を社員に充分認識させ且つこれに對處するため松岡總裁の名をもつて全社員に露西亞語の修得を奬勵することゝなり各ヶ所に於てそれ〴〵適當講師を選び講習會を開いてゐるが新京滿鐵支社に於ても來る二十一日より約六ヶ月間每日退社後を利用してロシア語講習會を開講することに決定した、講師は眞鍋重忠氏を始め伊藤、別役、伊藤諸氏の錚々たる日本人專門家の外に會話には京商露語教師の露西亞人を依囑することになつた、最初は一學級八十名の豫定である

軍需學校卒業式

陸軍々需學校では來る十九日午前十時から同校に於て侍從武官御差遣の下に左記式次第により第七期軍需候補者（日系）第二期甲種軍需學生（日系）及第五次乙種軍需軍生（滿系）の卒業式を擧行する

侍從武官奉迎午前十時、狀況報告、供覽劍術同十時二十分、卒講業演同十時五十分、卒業證書授與式同十一時二十分、祝宴正午、侍從武官奉送午後零時四十分

圍碁リーグ戰

滿洲棋院主催圍碁秋季リーグ戰は十三日午後一時より中央通りの同棋院に於て開催されるが、申込チームは既に國務院、民生部、交通部、產業部、中銀、電々等十組にのぼつてゐるが優勝チームには滿日盃、個人優勝者には二宮滿鮮拓植總裁賞、二、三等には星野長官賞、植田司令官賞がかけられてゐる

洗濯屋に非難

依託品、盜まれても知らぬ顏 〝人の物〟では困る

最近各署保安係へ洗濯業者に對する非難がどし〳〵持込まれてゐる、即ち市內洗濯業者中自らの不注意によつて依託された品物を窃取されたり或は店員に持逃げされ乍ら被害者に對し不誠意極まる態度を以て對應するのである、之等依託品の紛失は最近殊に頻々として業者對被害者間の紛爭の種となつてゐるが、かゝる場合業者側では店主は店員の仕出かしたことであるとうそぶいて我關せずの態度を採り、店員は店主を口實に責任を回避して數ヶ月を放任敢て省みざるが如きは常套手段とするものである、のみならず惡辣な業者に至つては辨償の誠意さへ披瀝しやうともしない全く啞然とせしめる者さへある狀態で、終には被害者側も堪へ切れず爆發は悲鳴となつて警察へ持ち出されるのである依託品に對し責任を持てないやう業者こそ甚だ不都合な存在であるが當局に於ては折柄コソ泥橫行季節にも直面してゐるので業者に對し一段の注意と反省を促すべく警告を發する筈である

歌ふ警察官

曩に滿洲國警察協會が廣く一般から募集した滿洲國警察歌はこのほど詮衡を終り十二日午後一時より在京警察官出席のもとに協和會本部大講堂に於いて盛大なる發表會を催した、警察協會本部幹事菅太郎氏の挨拶があつて、作詞者八木沼丈夫氏、作曲者大塚淳氏の感想を述べ新京音樂協會合唱部の模範齊唱が和泉初音氏のピアノ伴奏によつて行はれ續いて練習齊唱、新京音樂協會吹奏樂部の吹奏樂演奏、會衆の合唱があつて盛會裡に三時半散會した、歌詞左の通り

一、東に昇る太陽に、光りは映ゆる滿蒙の、民族あひ寄りあひ結ぶ、久遠の樂土建設の、護りの責を負ひてたつ、警友十萬相和し起てば、歡聲あがる三千萬

二、正義と愛の炬を翳し、射す諸々の陰影除き、民衆を導きその幸に、不眠不休の晝と夜、撓まぬ此の身此の心、警友十萬相呼び起てば、世に光りあり三千萬

三、山また山を越えきて、密林ふかし討匪陣、襟毛の氷柱拂ひつゝ、篝火を圍みあひ誓ふ、追ひ討て地の極みまで、警友十萬奮ひて起てば、治安は安し三千萬

四、高粱畑風そよぎ、月寒する夜を深く、村里遠き犬の聲、防犯捜查にた警邏、水も漏らさぬ警備陣、警友十萬擧りて起てば、眠りは安し三千萬

五、至誠護國の一念に、右手に握れる破邪の劍、左手に民を撫育して、皇威あまねく地に布かむ、選ばれし者あゝ警察官、警友十萬道義に起てば國昌榮あり三千萬

高等文官合格者

政府は文官令に依る高等文官（技術官）採用の第一回採用試驗を去年九月七日より十一月二日に亘り京城、東京、仙臺、京都、福岡、新京の各地に於て施行し受驗總數四百卅三名中より左の合格者六十一名を採用に決定十二日發表した

清水一、福島正雄、安藤昌三、西正平、西野進、齊六郎、米田稔、井關敏雄、周復頤、金則雍、李殿培、徐毅芳、東條晴明、加賀晃造、增田功、杉島浩、菊池輝次、阿部壽男、福原忠、王樹春、何裕昌、盧文良、程聯雲、李文泉、劉雅忱、任寶善、黃垂鵬、戶川完、峰恭平、篠原勇、篠原德助、藤茂先、侯萬鑑、于溪山、深味春輝、松元行吉、土井精一、岡本剛、鄧恩誠、鄧福星、尹正榮、鈴木泰治郎、船木五郎、楊景儒、楊子培、劉冠翹、神原崇臣、毛利卓、曹永業、大村義雄、林原二郎、飯島克巳、盧明哲、于紹文、楊國彬、劉富民、金京河、高橋豐二、櫻井守正、宋萬宏、高丕琦

「防共親善映畫の夕」日取變更

滿映主催の「防共親善映畫の夕」は十三日夜西廣場滿鐵社倶樂部で開催の豫定であつたが、準備の都合で十五日午後六時卅分に變更された

國婦指導員承德方面へ

滿洲國防婦人會では全滿各支部の統一整備を圖り先に總本部より南滿各沿線へ分會指導員を派遣したが、更に第二回として承德方面分會指導に磯谷會長事務取扱、張、赤木、德三理事及び岡田常務理事が十二日午後六時五十分新京驛發列車で在京會員多數に見送られて出發した、承德、錦縣で分會長會議を開き現地の聲を聞き分會指導をなす傍ら同地方の傷病兵を慰問して十七日午後五時二十分新京驛歸着の豫定

滿映二女優歸る

日本訪問の滿映李香蘭、孟虹の二女優は近藤伊與吉監督につきそはれ十二日午後五時廿分新京驛着あじあで歸京

國政記者倶樂部秋季總會

國政記者倶樂部では十二日秋季總會を開催し續いて彌生で懇親宴を催した

北支新民會派遣の籃球を迎へての國都に於ける試合、敷島高女の受付は入場券の發賣で忙しい▼入場券を持たずに入らうとする一人の紳士を止めた受付子「もし〳〵どなたですか」付添の者が「長官です」と返事する▼「どこの長官です」「總務長官です、星野さんです」それでもまだ受付子げせない顏▼とう〳〵入場料廿錢拂つて入つたといふから今を時めく星野長官も知らぬ者にあつてはカナハンです

けふの天氣 四の風晴 きのふの氣溫 最高零下三度 最低零下八度八

若殿膝栗毛

（百七十二）

（上演上映禁）　中川雨之助作　竹役一郎畫

怪老人

「ヘイ、承知致しました」と武藏屋兵衛。なか〳〵洒落氣のある男だから、手分に言つけ、大和屋から曳いて來た馬に、千兩箱二つを積んで、尼ケ崎の難波屋へ送り屆けた。

「ヘイ、それは御若旦那樣。確にお受取り申しました」と、平氣で受取つて置くことのできない難波屋忠四郎であつた。

「どうでせう武藏屋の親分さん、桃田屋を苦しめ、牧野の殿樣の命を縮つた二千兩。この難波屋が罪亡ぼしに、これをこのまゝ、貧しい人たちに施したいと思ひます。お世話序に親分さん、一ト骨折つて下さいませんか」との頼み。

武藏屋兵衛、横手を打つて感心して。

「さすがは難波屋の旦那。結構な思召し、武藏屋兵衛及ばずながら、お手傳ひをいたしませう」とポンと胸を叩いたものだ。

長七郎にも異議はなかつた。

間もなく此施行は、天滿天神の境内に、臨時小屋を作つて行はれた。誰いふとなく、この施行は、松平長七郎樣がなさるのだといふ噂が傳はつた。

山と積まれた白米或ひは現金をそれ〴〵惠まれて行く貧乏人達は長七郎を神の如く禮讃した。

その日の午下り、長七郎は兵十郎、三平太の兩人を供につれ、施行の模樣を見ようと、天滿天神へ出かけた。

すると、その境内で、不圖怪しい男を見たのである。

頭は總髮にして、長い白髯を胸まで垂れ、白衣を纏つた、一見行者のやうな老人であつた。

老人は、多くの見物人に取卷かれながら、一段高い臺から顏を突き出して聲を張り上げ。

「サア皆さん、わしは金儲けのためにこんなことをするので無い。只だ世の中の病難に苦しむ人を救はんためぢや。いや、わしが救ふのだと思うたら大きな間違ひ、みんな神樣がお救ひ下されるのぢや。只だ神を信じなされ。わしの施術をみて、あれは魔術だなぞと思うてはいかん。サア誰でも構はん。眼が惡いとか耳が聞えぬとか、その他手足の不自由な者は、遠慮なくわしの施術をうけなさい。施術といつて、別に難かしいことをするのぢやない、只だその痛む所へわしのこの掌を當て、心にもろもろの邪氣を拂ひ、一心に神を禮讃すれば、それで好いのぢや」

老人に似合はず、能辯に滔々と並べ立てる。赤銅色の顏、廣い額に高い鼻。そして炯々として人を射る眼光。

「此奴、只者ではない」と、長七郎は睨んだ。

見物の中から、一人の見すぼらしい年増女が現れた。その女は眼が惡いのだといつて眩しさうな顏を、始終俯向き勝にして困つた。

「ウム眼が惡いか。よし〳〵直ぐに癒してやるぞ」と、翁の老人はやをら臺から下りて白衣の姿を、その女の傍へ近づけた。

好奇心に驅られた見物の人垣は動揺みを打つて二人を押包んだ。

「押しちやいかん。靜かに〳〵」

老人は手を揚げて制して置いて、兩手を女の瞼にかけて仰向かせ、ヂッと暫く見つめて居た。

見物は鳴りを靜めた。

と、老人は、左の掌で、ピタリと女の眼を押へ、右の手は高く天を指し、何やら譯の分らぬ呪文めいたことを唱へ始めた。

見物は、固唾を呑んだ。

老人は靜かに掌を放した。

「あツ、能く觀える。ちつとも痛みがなくなりました。あ、ありがたうございます」